

MSM およびゲイ・バイセクシュアル男性の HIV 検査受検行動に

つながる支援

研究分担者 本間隆之 (山梨県立大学看護学部)
研究協力者 岩橋恒太 (特定非営利活動法人 akta)
生島 嗣 (特定非営利活動法人ふれいす東京)
貞升健志 (東京都健康安全研究センター)
長島真美 (東京都健康安全研究センター)
清古愛弓 (台東保健所)
小竹桃子 (台東保健所)
松本加代 (台東保健所)
内海雪子 (台東保健所)
峯田裕子 (台東保健所)
岳中美江 (特定非営利活動法人バルビー)
堅多敦子 (東京都福祉保健局)
臼井久美子 (東京都福祉保健局)
栗原千秋 (東京都福祉保健局)
市川誠一 (人間環境大学大学院看護学研究科)

研究要旨

本研究は男性と性行為を行う男性; Men who have Sex with Men (以下 MSM) の HIV 検査受検行動支援のために必要な課題の整理と検査環境整備への提言を目的として実施した。

地理的アクセスの良さ、HIV 迅速検査、他の性感染症の迅速検査、MSM に向けた検査として専門の相談員が相談に応じる、個人の健康支援を大切にされた広報や情報伝達といった取り組みが、当該地域の HIV 検査相談ニーズの顕在化へつながったと考える。検査相談会の要素のうちいくつかでも既存の保健所や検査機会の検査相談に取り入れることによって、検査を遠く感じている感染可能性が高い MSM が受検への障壁を少なく感じ利益性を高く感じる「質の高い」検査相談の機会となると考える。これと同時に、性感染症に対する偏見、検査結果と将来の生活や経済面での不安、HIV あるいはセクシュアリティに対するスティグマ、パートナーとの関係性、日常生活上の問題など複合的な課題について十分に配慮した検査と相談を伴う健康支援を、専門家がワンストップで提供する行うことができる保健所検査相談の場として活用していくことが重要であり、そのための現場の課題に即した調整と支援が必要となる。

A. 研究目的

本研究では男性と性行為を行う男性；Men who have sex with men（以下MSM）のHIV検査受検行動支援のために必要な課題の整理と検査環境整備への提言を目的として実施した。

東京都の東地域は西側地域と比べてMSM向けあるいは夜間や土日に行う即日検査と相談の機会が少ない。この地域において、MSMを対象としてHIVと梅毒の即日検査と相談を提供する会を開催することで、検査および相談のニーズについて評価することとした。

検査相談会はMSM向けにHIV予防啓発活動を行うNGOと研究班で、企画やコンセプト、戦略について当該地域の実情や志向にフィットしたイベントとなるよう検討を行った。

B. 研究方法

B-1. 検査相談会の実施

東京東地域でも特にMSM向けの商業施設が集まる上野駅に隣接する台東保健所の協力を得るとともに、検査業務は新宿区内に住所を有する診療所の協力を得て、巡回診療所の開設申請を行うことによって検査相談会を実施した。初年度は台東保健所が入る建物の3階と6階、次年度以降は健診で使用するフロアを、採血行為などを行わない利用で使用する条件で、1階3階および4階を検査相談会の会場として利用した。受付や採血と結果返却は3階と4階で行い、検査相談利用者が移動しやすい導線を確認した。

検査項目はHIVのIC法と梅毒TP抗体のIC法、梅毒のRPR法の3つとした。採血後、検査結果の受け取りは原則として採血から1時間後。専門の相談員による相談は受付の開始時間から終了時間まで随時利用可能とした。なお、検査結果受け取り後の相談は必要に応じて、この時間以降も21時まで終了する条件で利用可能とした。

	平成28年度	平成29年度	平成30年度
開催日	H29年 1月21日(土)	H29年 10月30日(月)	H30年 12月14日(金)
受付時間	17-20時	17-20時	16-20時
場所 (使用階)	台東保健所 (3,6階)	台東保健所 (1,3,4階)	台東保健所 (1,3,4階)
定員	100名	150名	180名
当日の検査 結果の返却	採血から 1時間後	採血から 1時間後	採血から 1時間後
確認検査結 果の返却	翌日夕方に台東 保健所にて研究 班が返却	約1週間後に台 東保健所のス タッフが返却	約1週間後に台 東保健所のス タッフが返却
広報・周知	ゲイ向け SNS(バ ナー,PU)、専 用のサイト、 Twitter	ゲイ向け SNS(バ ナー,PU)、専 用のサイト	ゲイ向け SNS(バ ナー,PU)、専 用のサイト
	上野のバーと ショップからチ ラシを配布、イ ラストレーター のSNS NPO aktaの twitter,SNS	NPO aktaの twitter,SNS	NPO aktaの twitter,SNS

検査相談会の参加条件（研究参加者取り込み基準）は、検査相談会場に会場説明を理解すること、書面へのサインをもって研究参加の意思を示すこと、男性と性行為をする男性（MSM）であること、20歳以上であること、日本語によるコミュニケーションがとれること、IC法によるHIV検査結果が「確認検査が必要」だった場合に確認検査の結果を翌週の決められた日に本人が受け取りに来られること、他の受検者や研究実施者および台東保健所等に迷惑をかけないことを条件とし、受付での掲示と検査ガイダンスにより周知した。

B-2. 会場内の受検者の流れ

受検希望者は台東保健所を訪れると、案内に従ってエレベーターまたは階段で受付のある階へ移動する。受付で「快速あんしん検査 上野駅」の検査相談会への来場者であることを確認して、ID番号が付された資料一式を受け取り、案内に従ってガイダンスへ移動する。

受付で参加者に配付した資料は、受検票カード、

相談カード、ガイダンスシート（研究実施説明書兼検査内容説明書）、研究参加同意書（控え）、問診票、HIV 検査の結果に関する説明書（表裏に陰性の情報と陽性の情報を記載）、研究参加者質問票（アンケート）、東京都保健所マップ。

ガイダンス担当者は、研究内容と検査会に関する注意事項等をまとめた投影プレゼンテーションによって説明を行った。ガイダンスを終え、研究参加の意思を示した参加者は研究参加同意書にサインをして、採血待合室で待機する。検査を受けない場合は相談だけの利用も可能であることを伝えた。

採血担当者は ID 番号で受検者を呼び出し、研究参加同意書へのサイン記入と ID 番号を確認した上で採血管に ID 番号を記載し、受検者とともに間違いがないことを確認した後、採血する。採血終了後、結果受け取りの時間まで結果待合室で待機するよう伝える。採血後の待ち時間にも専門の相談員に相談できること、申し出によって一時外出可能なことを伝える。外出を希望する場合は、受付においてガイダンス時に説明した書類一式を預かり、受検票カードのみを渡し、戻ったら受検票カードを確認して書類を返却する。アンケートは結果受け取りの呼出までの待ち時間に記入してもらい、待ち合いに設置するアンケート回収箱に提出してもらう。

検査結果説明担当者は、検査結果が記載された個票を検査担当者から受け取り、結果待合室にいる受検者を ID 番号で呼び出す。呼び出された受検者が持っている受検票カードと結果個票の ID 番号が一致していることをその場で確認した後、受検者と結果説明担当者は4階結果説明用の個室に移動する。梅毒および HIV の検査結果について説明を行う。梅毒の検査結果に関しては結果の解釈を説明するとともに既往等について問診を行い、必要に応じて受診を推奨した。HIV の結果が判定保留（要確認検査）の場合は、結果説明担当者の呼び出しに応じて待機していた台東保健所

の保健師が同席し、翌週以降の確認検査結果受け取りの日程を調整する。確認検査結果受け取りまでの間の相談支援等は NGO（ふれいす東京）および研究班として連絡先を提示してサポート体制を作った。確認検査の結果返却は台東保健所医師が行った。結果返却の際の情報資材を支援 NGO と検討して提供した。研究では特に確認検査結果の返却から受診へスムーズにつながるように、HIV 診療拠点病院の担当者と直接連絡して来院日等を調整することができるよう連携を調整した。

判定保留（要確認検査）の検体を含めた全検体を研究協力者である東京都健康安全研究センターへ引き渡して、確認検査および梅毒 TPLA の検査の実施を依頼した。

B-3. 使用した検査キット

検査相談会会場の HIV 及び梅毒の検査

- ・ HIV:ダイナスクリーン・ HIV Combo (Abbott)
- ・ 梅毒 RPR 法:RPR テスト”三光” (エーディア)
- ・ 梅毒 IC 法:ダイナスクリーン・ TP Ab (Abbott)

HIV 判定保留の場合の追加確認試験

- ・ ジェンスクリーン HIV Ag-Ab ULT (バイオ・ラッド)、バイダスアッセイキット HIV DUO II (シスメックスバイオメデュア)
- ・ 確認試験 (WB 法および NAT 法) :ラブプロット 1 およびラブプロット 2 (バイオ・ラッド)

B-4. 検査相談会の企画と広報

この検査相談会を、MSM の人たちに対して、わかりやすく伝えるとともに、突然現れた検査相談会を信頼のおけるものとして利用していただくために、MSM の HIV 予防啓発活動を行っている NPO 法人 akta の協力を得て、検査相談会のコンセプトを定めるとともにブランディングを行い、周知広報を行った。本検査相談会の特徴は、HIV の迅速検査、同時に梅毒の迅速検査を実施、セクシュアリティや HIV に理解のある専門の相談員がいること、上野の MSM 向け商業施設から近いこと、交通の要衝である上野駅から近いこと、17時以降

の夜間の時間帯に実施すること、MSM の HIV の現状を理解したうえでの診療との連携や検査相談の配慮などであり、これらを踏まえて、議論を重ね、早いという意味で「快速」、様々な配慮をしている意味での「あんしん」、商業施設や駅からのアクセスが良好であることから「上野駅」というキーワードが挙がり、「快速あんしん検査 上野駅」というネーミングが決まった。これをもとに、上野駅=鉄道のイメージと上野浅草の MSM の地域性を踏まえて、この検査相談会のために MSM に人気のあるイラストレーターにメインイラストを描き起こしてもらった (図 1)。

これをもとに A5 サイズの紙フライヤーを作成、ゲイ向け出会い系として利用者数の多いアプリに、帯バナーとアプリ起動時に全画面表示されるポップアップ広告を作成、検査相談会前の 1 週間掲載を依頼した。

広報は検査相談会の開催日時だけを伝えるのではなく、上野駅および MSM 向け商業施設に近接した利便性の良い場所での開催であること、HIV および梅毒が即日でわかること、無料、匿名、予約不要、MSM への配慮や専門の相談員による相談体制があること、検査のその後にも配慮していることなど、MSM にとって「あんしん」な検査であるとのコンセプトに基づいて、それらが伝わるデザインや構成を NGO とともに工夫した。また、研究として実施する検査相談会ではあるが、HIV 検査を受検することの個人的メリットや検査結果が陽性だった場合の生活や支援についてサイトの内容やリンク先の工夫によって積極的に伝えることで、検査相談自体は検査を受ける個人の健康増進に寄与するものであることを強調して伝える内容とした。「快速あんしん検査 上野駅」というネーミング、検査相談会広報媒体のイラストやデザインを継続使用して、一貫性を持たせるとともに、ブランド化を目指した。

B-5. 検査会当日の実施体制

入口案内 2 名、受付登録 2 名、検査内容ガイド

ンス 2 名、会場管理 1 名、会場案内採血誘導 2 名、検査管理 1 名、採血 3 名、検査 2 名、相談 2 から 3 名、結果返却 5 から 6 名、確認検査予約 2 名の 20 余名で当日の運営を実施した。

B-6. 検査相談会参加者に対する質問票調査

質問項目は、性別、年齢、居住地、職業、「快速あんしん検査上野駅」を知った媒体と利用及び受検の理由、過去の HIV 検査受検経験、HIV 検査受検が初回だった人のこれまで未受検だった理由、複数回受検者の過去の受検場所と頻度、自身の感染可能性の認知、性行動と HIV 予防行動、HIV と梅毒に関する知識、HIV 及び性感染症の予防啓発活動や支援に関する認知とした。必要に応じて 3 年間で項目を変更した。

B-7. 参加者質問票の分析

各項目の記述統計、関連項目のクロス集計を行った。今回の HIV 検査が初めての群と複数回受検経験がある群とを比較してクロス集計を行った。

B-8. 倫理的配慮

人を対象とする医学研究に関する倫理指針を遵守するとともに、研究実施年度ごとに作成した研究計画書を山梨県立大学看護学部研究倫理審査委員会へ提出し、承認を受けた後に実施した。

C. 研究結果

受付時間内には各年度、94名、137名、160名が来場し、検査相談を利用した。

	平成28年	平成29年	平成30年
開催日	H29年 1月21日(土)	H29年 10月30日(月)	H30年 12月14日(金)
参加者	94名 (定員超過)	137名 (定員内)	160名 (定員内)
都内在住	63名 (67.0%)	90名 (65.7%)	101名 (63.5%)
初受検者	23名 (24.5%)	21名 (15.3%)	37名 (23.3%)
平均年齢	35.9歳	38.2歳	38.1歳
相談件数	9件	11件	7件
HIV(+)	4/94名 (4.2%)	4/137名 (2.9%)	2/160名 (1.25%)
TPLA(+)	13/94名 (13.8%)	31/137名 (22.6%)	24/160名 (15.0%)

初年度は検査相談の希望者が多数来場し、検査相談会の定員数をはるかに超えたこと、またそれを想定した準備が不足していたことで、せっかく検査や相談を利用しようという気になって行動を起こしていただいた人のケアをすることができなかつたという反省から、2年目からは検査定員数を運営の無理のない範囲で増やすこと、また、一時期に多くの人々が来場した場合や、定員数を超す検査相談希望者が来場した場合に備えて、配布資材や代替となる検査機会の案内などを準備することで対応した。

C-1. 検査相談会の流れ

検査相談会当日は14時から会場の準備を開始し

て、受付開始の1時間前には担当者が集合し当日の流れや注意事項を確認するとともに情報共有を行った。受付開始の30分前には準備を完了できるように進めた。受付から結果返却までの時間は最終年度のみ測定することができ、混雑具合や採血検体の凝固時間等により変動するが、平均65分、採血から結果の返却までは平均51分であり通常の迅速検査に比べても、スムーズに運んでいた。

C-2. 来場者の属性

受検者の年齢は40歳代が36.6%と最も多く、50歳以上は8.4%であった。上野という地域性を考えると、やや50歳代以上の年齢層が少ない。

東京都内在住者は254名(65.5%)であった。東京以外では、埼玉県55名(14.2%)、神奈川県33名(8.5%)、千葉県34名(8.8%)と、東京を中心とした関東地方からの来場であった。それ以外の地域では愛知県、滋賀県の居住者も見られた。

C-3. HIV及び梅毒の検査結果

梅毒のTPLA陽性数は391件中68件で、陽性割合17.4%(95%CI:11.5%-23.3%)。

HIVの迅速検査の結果、確認検査が必要であった数は11件で、確認検査の結果は10件が陽性、1件はIC法偽陽性と判定された。HIVの陽性割合は2.6%(95%CI:0.1%-5.0%)であった。HIV陰性の人の内TPLA陽性は16.5%(95%CI:10.8%-22.3%)であった。

	HIV			
	陰性		陽性	
	n	%	n	%
TPLA 陰性	318	(83.5%)	5	(50%)
TPLA 陽性	63	(16.5%)	5	(50%)

後日確認検査の結果陽性を伝えた人については、全員が医療機関を受診した旨、当該医療機関から報告を受けて確認した。

C-4. アンケートによる検査相談会の評価

検査相談会を知った媒体は複数回答で「出会い系アプリの広告」が74.9%と最も多く、次いでSNSやTwitter8.0%、知人からの口コミが7.5%であった。

快速あんしん検査上野駅の利用を選んだ理由は、HIVの結果が即日でわかるから(69.4%)、梅毒の結果が即日でわかるから(52.8%)という検査内容、来やすい場所(上野)だったから(54.7%)、予約をする必要がないから(46.1%)という利便性の良さを挙げた人が多かった。

C-5. 検査受検者について

HIV検査の受検経験は、今回初めてHIV検査を受検した人が81名(20.7%)であり、そのうちの70.4%はこれまでにHIV検査を受けたいと思ったことがあると答えていた。過去に受検経験がある307名のうち153名(49.8%)が過去1年以内に、109名(35.5%)が過去3年以内に検査を受けたことがあった。検査を受けた場所としては保健所が最も多く、次いで南新宿検査相談室(31.5%)であった。

HIV陽性となった10名のうち6名は今回の検査相談会がHIV検査の初受検であった。初受検者は391名中81名であるので、初受検者中の陽性割合は12.3%(95%CI:7.2-17.4%)であった。

初受検で陽性が分かった人(n=6)について

初受検でHIV陽性であった6名のうち、これまで検査を受けられなかった理由(複数回答)として、5名が「きっかけがなかったから」、3名が「HIVに感染していることがわかることが怖いから」、1名が「HIV感染が分かった後の生活が大変そうだから」「HIVに感染していることがわかるとゲイであることを家族等に説明しなければならないから」を挙げている。この「快速あんしん検査上野駅」に参加した理由は、「HIVの結果がすぐわかるから」を5名が、「来やすい場所(上野)でやっていたから」を4名が、3名が「予約をする必要がなかったから」を挙げている。

C-6. 知識

正解割合が低いものの中では、「梅毒の初期症状には必ず痛みを伴う症状が出る」正解割合56.2%、「学校や職場の健康診断でHIVに感染していることが分かることもある」正解割合60.1%であった。いずれの質問においても受検経験ありの人に比べて初回受検者での正解割合が低かった。

D. 考察

対象を東京都東地域のMSMにフォーカスして、丁寧なHIV検査相談に関するコミュニケーションを行うことで、はじめての受検や定期的受検者を含め、多くの検査相談ニーズがあることが明らかとなった。またこの対象には十分なHIVや性感染症に関する知識や検査支援などの健康情報が行き届いていない可能性も示唆された。検査相談の機会としては初年度の定員超過や3年間でのHIV及びTP陽性割合の高さなどから、多数の検査相談ニーズに対して質の高い検査相談を継続的に提供していくことが必要であると考えられる。また、人口の流入が多い都市部では、検査相談の機会を中心とした健康支援に関する情報を、継続的にMSMコミュニティやNGOなどのCommunity based organization ;CBOと連携して発信し続けていく必要がある。

今回の検査相談会の要素である夕方夜間、繁華街から近い場所、HIV即日検査、梅毒即日検査、無料匿名、専門の相談員が対応、ゲイに理解がある印象を与えるコミュニティを基盤とした広報コミュニケーション、個人の健康支援を大切にされた情報伝達など各要素の効果を分離して影響を評価することは困難であるが、これらのうちいくつかでも既存の保健所や検査機会に取り入れることによって、検査相談を遠く感じているMSMにとって受検への障壁を少なく感じ利益性を高く感じる、質の高い健康支援の機会となると考える。

E. 結論

東京東地域の MSM 向けに、NGO と連携した検査相談の機会を設けるとともにそのニーズ評価を行った。受検者における HIV と梅毒の陽性割合は高く、今回のターゲット集団における HIV 等の検査相談機会の質及び量ともに、さらなる充実が必要である。HIV 受検行動を支援するためには、アクセスの良い場所と時間帯、HIV 以外の性感染症との同時検査かつ迅速検査と言った受検希望者が感じる利便性を改善することに加えて、性感染症に対する抵抗感、検査結果と将来の生活に関する不安、HIV あるいはセクシュアリティに対するスティグマ、パートナーとの関係性、経済的問題、日常生活上の問題など複合的な課題について十分に配慮した検査と相談を伴う健康支援を、専門家がワンストップで提供することが重要である。これを担うことができる保健所の検査相談現場の課題解決を支援し、活用を促していくことがひいては検査行動の促進につながる。

F. 研究発表

1. 論文発表

- ・金子典代, 塩野徳史, 本間隆之, 岩橋恒太, 健山正男, 市川誠一. 地方都市在住の MSM における調査時点までと過去1年の HIV 検査経験と関連要因

2. 学会発表

- ・本間隆之, 岩橋恒太, 貞升健志, 長島真美, 他. HIV 検査相談会「快速あんしん検査上野駅 2017」の実施. 第 32 回日本エイズ学会学術集会. 2018 年 7 月 (大阪)
- ・木南拓也, 本間隆之, 岩橋恒太, 今村顕史. コミュニティセンター akta を基点とするアウトリーチ活動の効果評価. 第 32 回日本エイズ学会学術集会. 2018 年 8 月 (大阪)
- ・荒木順子, 金子典代, 木南拓也, 本間隆之, 他. akta 来場者における来場経験別の来場目的、HIV 検

査行動、性行動、陽性者の身近さ. 第 32 回日本エイズ学会学術集会. 2018 年 9 月 (大阪)

- ・本間隆之, 岩橋恒太, 金子典代, 高久道子, 他. MSM 向けクラブイベント来場者における HIV 検査未受検者の特性. 第 32 回日本エイズ学会学術集会. 2018 年 10 月 (大阪)
- ・岩橋恒太, 金子典代, 高野操, 岡慎一, 本間隆之, 他. 広がりつつある検査の選択肢と、個別施策層の対策にどのように対応するか MSM を対象とする、郵送検査手法を用いた新たな HIV 検査機会としての「HIVcheck.jp」の取り組み. 第 32 回日本エイズ学会学術集会. 2018 年 11 月 (大阪)
- ・本間隆之, 木南拓也, 岩橋恒太, 柴田恵, 他. Community-Based Organization によるアウトリーチ活動のプログラム評価 ロジックモデルを用いたプロセス評価. 第 31 回日本エイズ学会学術集会. 2017 年 11 月 (東京)
- ・荒木順子, 金子典代, 木南拓也, 岩橋恒太, 他. akta で展開したセーフアセックスキャンペーンとコミュニティベースド調査による効果評価. 第 31 回日本エイズ学会学術集会. 2017 年 11 月 (東京)
- ・木南拓也, 本間隆之, 岩橋恒太, 荒木順子, 他. コミュニティセンター akta を基点とするアウトリーチ活動の効果評価. 第 31 回日本エイズ学会学術集会. 2017 年 11 月 (東京)
- ・今村顕史, 福島一彰, 堅多敦子, 土屋菜歩, 本間隆之, 他. 梅毒啓発を利用した新たな HIV 受検勧奨法についての検討. 第 31 回日本エイズ学会学術集会. 2017 年 11 月 (東京)
- ・本間隆之, 岩橋恒太, 堅多敦子, 貞升健志, 長島真美, 他. 検査・相談体制 HIV 検査相談会「快速あんしん検査上野駅」の実施. 第 31 回日本エイズ学会学術集会. 2017 年 11 月 (東京)
- ・岩橋恒太, 本間隆之, 堅多敦子, 貞升健志, 長島真美, 他. 検査・相談体制 東京東部地域における MSM 向け HIV 検査・相談会「快速あんしん検査上野駅」の啓発の構成. 第 31 回日本エイズ学会学術集会. 2017 年 11 月 (東京)

G. 知的所有権の取得状況

なし

図1. 検査相談会の広報フライヤー（H28, 29, 30、裏面）

即日
予約不要
無料匿名
HIV
梅毒



1月21日、 上野で新しい検査イベント出発!

場所 台東保健所3階 (台東区東上野4-22-8)
対象 ゲイ・バイセクシュアル男性
日時 検査日時…2017年1月21日(土) 17:00~20:00
 結果返却は原則1時間後
 ※受付からお帰りたい日までの時間は、混雑状況により伸びる可能性があります。
 ※混雑状況により整理券を発行します。
 ※受付から結果返却まで原則1時間半ほどですが、混雑時は大変長くなる場合があります。
 ※HIV検査の結果、確認検査が必要な場合は、翌週に同じ台東保健所で確認検査の結果をお伝えします。

問い合わせ 03-3226-8998 (community center akita)
 当日の直通問い合わせ 070-1321-7757 (15:00~21:00)

くわしくは⇒ www.akita.jp/anshin/



厚生労働科学研究費補助金エイズ対策政策研究事業「HIV検査受検動員に関する研究」(研究代表者：今村真史)
 「MSMおよびゲイ・バイセクシュアル男性のHIV検査受検行動に関する支援」(共同研究者：本間隆之) Illustrated by Go Fujimoto

即日
予約不要
無料匿名
HIV
梅毒



12月14日、 今冬も上野で検査イベント出発!

場所 台東保健所 3階 (台東区東上野4-22-8)
対象 ゲイ・バイセクシュアル男性
日時 検査日時…2018年12月14日(金) 16:00~20:00
 ※混雑状況により整理券を発行します。
 ※受付から結果返却まで原則1時間半ほどですが、混雑時は大変長くなる場合があります。
 ※HIV検査の結果、確認検査が必要な場合は、翌週に同じ台東保健所で確認検査の結果をお伝えします。

問い合わせ 03-3226-8998 (community center akita)
 当日の直通問い合わせ 070-1321-7757 (16:00~20:00)

くわしくは⇒ www.akita.jp/anshin/

定員 180名 (先着順受付)



厚生労働科学研究費補助金エイズ対策政策研究事業「HIV検査受検動員に関する研究」(研究代表者：今村真史)
 「MSMおよびゲイ・バイセクシュアル男性のHIV検査受検行動に関する支援」(共同研究者：本間隆之) Illustrated by Go Fujimoto

即日
予約不要
無料匿名
HIV
梅毒



10月30日、 今秋も上野で検査イベント出発!

場所 台東保健所 3階 (台東区東上野4-22-8)
対象 ゲイ・バイセクシュアル男性
日時 検査日時…2017年10月30日(月) 17:00~20:00
 ※混雑状況により整理券を発行します。
 ※受付から結果返却まで原則1時間半ほどですが、混雑時は大変長くなる場合があります。
 ※HIV検査の結果、確認検査が必要な場合は、翌週に同じ台東保健所で確認検査の結果をお伝えします。

問い合わせ 03-3226-8998 (community center akita)
 当日の直通問い合わせ 070-1321-7757 (16:00~20:00)

くわしくは⇒ www.akita.jp/anshin/



厚生労働科学研究費補助金エイズ対策政策研究事業「HIV検査受検動員に関する研究」(研究代表者：今村真史)
 「MSMおよびゲイ・バイセクシュアル男性のHIV検査受検行動に関する支援」(共同研究者：本間隆之) Illustrated by Go Fujimoto

専門家に
聞こう!

HIV検査を早めに受けることが 昔以上に大事だって 聞いたんですけど、ほんとですか?

**この20年、HIVの変わったところ、
変わらないところ**

HIVは、適切な時期に治療を始められなかったばかりに、治すことができない病気にかかってしまったり、場合によっては亡くなってしまふことがある怖い病気であることは今も変わっていません。AIDSを発症して入院しなければならなくなった場合、入院の期間は数ヶ月になってしまうことがよくあり、人間関係、仕事や学業などが変わってしまう可能性もあります。

治療はよい方向に大きく変わってきています。1997年頃に日本でも画期的な治療方法が導入されて、HIVが原因で亡くなることは昔に比べて非常に少なくなりました。かつては服薬に副作用があることが当たり前でしたが、今は1日1錠の薬、しかも副作用が少ないものを服薬している陽性者が多くなっています。

**検査を受けようか、
悩んでいる人へ**

早く検査を受けて治療を受けることのメリットがわかっても、もし自分がHIV陽性だったらと想像すると、受けられないことはありますよね。病院でも昔は治療の選択肢を今ほど示すことができなかった。だから「治療の選択肢がないならこんな早く感染を知りたくなかった」とよく患者から言われました。でも今はAIDS発症を抑えることができるようになったし、治療の選択肢も示すことができるようになりました。それでも病気をみつめるのは怖いという気持ちの問題は残っている課題です。でもゲイの人たちは、自分たちの仲間の検査を受けた経験や治療を受けている人の経験が一般の人よりも身近にある。そのことが強みになりませんか? そうした経験が検査を受けたことのない人に共有されることがとても大事だと考えています。



がん・感染症センター東京都立駒込病院でHIV治療を行っている今村真史先生は、昨年からのHIV検査の方針を検討する研究班の代表研究者として活躍されています。今回は改めてHIV検査がなぜ大事なのかお話を伺いました。

図2. Web サイトに掲載の (4 コマ漫画)



図3. 受検票カード

おもて面



うら面

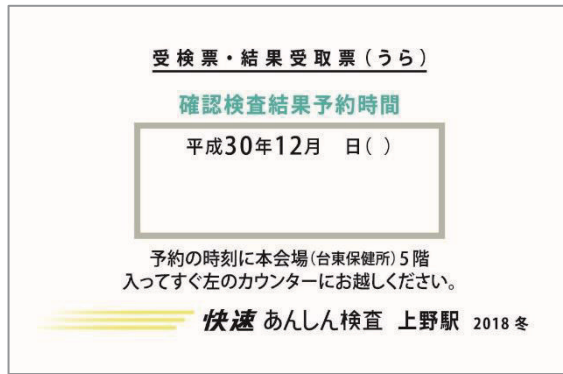
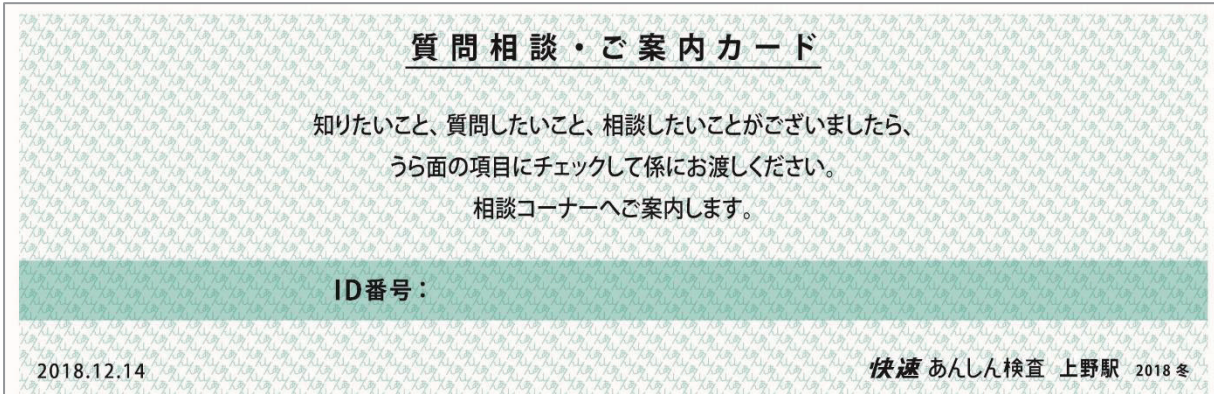
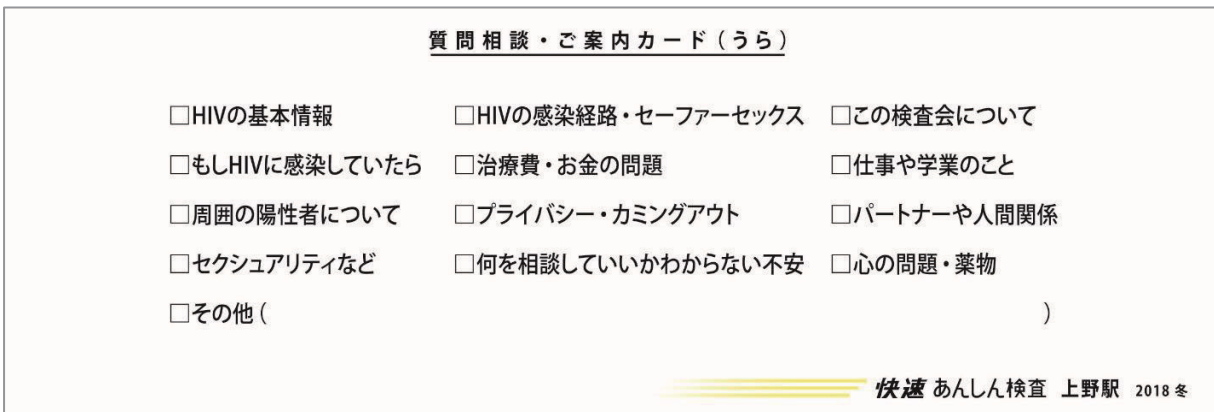


図4. 相談カード

おもて面



うら面



研究参加についての説明書

「快速あんしん検査 上野駅 2018」は、厚生労働省エイズ対策政策研究事業の一環として行う研究「Men who have Sex with Men を対象とした HIV 感染症及び梅毒の即日検査相談会の実施および感染動向と受検者ニーズの評価」です。検査の信頼性は通常に保健所などで行われるものと同じです。研究として行われる検査相談会に参加するには下記をご覧の上、同意いただく必要があります。

□ 1 研究の目的

- 受検者（あなた）の HIV 感染症および梅毒の検査を行い、結果をお伝えします。
- 全受検者の検査結果及びアンケート結果を集計し、HIV 予防啓発および今後の検査相談サービスの提供体制に役立てます。

□ 2 研究参加に関すること

参加条件

- ゲイ・バイセクシュアル男性である。
- 現時点で 20 歳以上であること。
- 説明書の内容を理解し同意できること。
- 日本語でコミュニケーションがとれること。
- 本日の HIV 検査の結果が「確認検査が必要」となった場合に、来週以降、確認検査の結果を本人が受け取りに来られること。
- 他の受検者に迷惑をかけないこと。

□ 3 検査会について（これからの流れ）

- 今から検査結果の受け取りを終えて会場を出るまでの全体の所要時間は 1 時間、混雑具合により 2 時間ほどかかります。
- 検査結果は採血から約 1 時間後に聞くことができますが、検査の都合により、前後します。
- 検査の都合により、呼出し順が前後することがあります。
- 会場内では専門の相談員による相談を時間内いつでも利用することができます。相談カードを係にご提示ください。

- 感染症に関する法律により届け出を行います。が、個人情報を収集するものではありません。

□ 4 費用負担に関すること

- この検査会における検査及び相談の費用負担はありません（無料です）。
- 検査の結果により医療機関の受診をすすめることがあります。今日の検査相談会以降の診療等は自己負担となります。

□ 5 個人情報の保護

- この検査会では氏名や詳細な住所や電話番号等の個人情報は収集しません。この検査会で使用する管理番号等は厳密に管理します。
- スタッフは検査会で見聞きしたことについて他の場所で話すことはありません。また、検査結果など個別の結果について、結果返却担当者以外のスタッフや相談員が知ることはありません。

□ 6 研究参加と撤回の自由

- この研究への参加はあなたの自由意志によります。途中で参加を取りやめることもできます。また、参加を取りやめても、不利益は生じません。

□ 7 研究にともなう利益および不利益

- あなたの HIV 感染がわかった場合には、医療機関等への紹介を受けることができます。
- 一般的に保健所や検査所などで行われる検査を超える利益や不利益はありません。

うらに続く

この用紙はお持ち帰りいただけます。

□8 検査とその結果について

- 今日 HIV 検査の結果は、次のいずれかの結果になります。
- **「HIV 陰性」**：HIV に感染していません。

今日の検査結果は約 90 日前 (3 か月前) までの状態を表しています。

HIV に感染しても、血液検査ですぐに「HIV 陽性」と判定できるわけではなく、ある程度の時間がかかります。そのため、今日 (検査日) からさかのぼって 90 日以内に感染の可能性のある行為があれば、この「HIV 陰性」という結果は今の状態を表しているものとはいえません。

最後に感染の可能性のある行為があつてから 90 日以内に検査を受ける場合は、感染していないことを確認するために、90 日以上たつてからもう一度検査を受けることをお勧めします。

- **「確認検査が必要です」**：HIV の確認検査が必要です。

この結果になった場合は別の検査法で改めて確認検査を行って、その結果をお伝えします。

検査キットの性能によって、HIV に感染していても、およそ 100 人に 1 人の割合でこの結果が出る場合があります。

確認検査の結果をお伝えするために来週 20 日、21 日、26 日の都合の良い時間を予約して、再度この会場 (台東保健所) にお越しいただく必要があります。

- あなたの HIV 感染がわかった場合には、病院や相談機関を紹介し、受診や相談の利用をお勧めいたします。
- 紹介状とともに、あなたが無事受診した旨の連絡を受けるための書類を同封しますが、すべて受検番号で行い、個人情報 は取得しません。

- 今日梅毒検査の結果は、次のいずれかの結果になります。

- **梅毒陰性**：この結果には次の 2 つが含まれます。「梅毒に感染していない」、あるいは、「過去に梅毒に感染したことがある」。このどちらなのか結果返却時に担当者が説明いたします。

- **確認検査が必要です**：この結果には次の 3 つが含まれます。「梅毒に感染していて治療が必要」、または「感染初期で後日再検査が必要」または「検査の誤反応 (偽陽性)」のいずれかです。

感染が疑われる場合は再検査をおすすめします。結果返却時に担当者が説明いたします。

□9 研究成果の公表

- この検査会は厚生労働科学研究費補助金「HIV 検査受検勧奨研究班」によって実施されています。研究の成果は厚生労働省及び学会等に報告しますが、受検者全体のデータを集計してから公表するため、あなたが特定されることはありません。

□10 問い合わせ先

検査について

検査実施者

東新宿こころのクリニック (担当:小日向)

東京都新宿区新宿 6-28-12

電話：03-5155-5556

研究について

「HIV 検査受検勧奨に関する研究班」分担研究者 (山梨県立大学看護学部 本間隆之)

電話：055-253-8749

メール：thomma@yamanashi-ken.ac.jp

図6. 研究参加同意書（控えも同様）

ID :

研究参加の同意書 兼 検査依頼書

厚生労働科学研究費補助金エイズ対策政策研究事業

「HIV 検査受検勧奨に関する研究班」

分担研究者 本間隆之 殿

私は、「快速あんしん検査 上野駅 2018」（Men who have Sex with Men を対象とした HIV 感染症及び梅毒の即日検査相談会の実施および HIV 感染動向と受検ニーズの評価）について、別紙「研究への参加についての説明書」に基づき以下の項目について説明を受け理解しましたので、研究参加に同意します。

- | | |
|-------------|------------------|
| 1 研究の目的 | 6 研究参加と撤回の自由 |
| 2 研究参加に関する事 | 7 研究にともなう利益及び不利益 |
| 3 検査会について | 8 検査とその結果について |
| 4 費用負担に関する事 | 9 研究結果の公表 |
| 5 個人情報の保護 | 10 問い合わせ先 |

同意受検者 ※ニックネームやサインでも結構です	男 女 ・ そ の 他	年齢（満年齢を 数字で記入） 歳
----------------------------	----------------------------	----------------------------

年齢は検体の取り違いを防ぐために使います

研究参加に同意された方へ

今回の検査で提供する検体（血液）を、本研究に使用するとともに一定期間保存し、将来新たに計画実施される HIV や性感染症の予防に関する趣旨の医学研究に使用されることに同意していただけますか。この場合も研究実施時に個人が特定されることなど発生する不利益はありません。

同意される場合には右の欄に自署をお願いいたします。

同意受検者（ニックネームやサインでも結構です）

2018年12月14日

図7. HIV 検査の結果に関する説明書 A (A, B は A4 用紙に両面印刷で使用)

**** HIV と AIDS ****

◆ HIV/AIDS の基礎知識 ◆

- ・ HIV とは Human Immunodeficiency Virus (ヒト免疫不全ウイルス) の略で、HIV に感染した状態を放置すると、数年～十数年の間に次第に免疫機能が低下してきます。
- ・ AIDS (エイズ) とは Acquired Immune Deficiency Syndrome (後天性免疫不全症候群) の略で、HIV によって免疫機能が低下し、日和見感染症を発生した状態をさします。
- ・ 免疫とは、病原体 (病気の原因となる微生物) が体の中に入り込んだときその病原体の増殖を抑制し排除しようとするシステムのことで、日和見感染症とは、免疫機能が低下したときにのみ発症する感染症です。たとえば、AIDS に特徴的な疾患のひとつである「ニューモシスチス肺炎 (カリニ肺炎)」の原因となる真菌 (カビ) は、多くの人の肺の中にもいますが、免疫機能が低下しない限り肺炎を引き起こすことはありません。
- ・ つまり、HIV とはウイルスの名前で、AIDS とは HIV による病気の名前です。

◆ HIV 感染の経過 ◆

治療しなかった場合の HIV 感染の経過

数年～十数年は無症状
CD4 細胞数
抗体・高抗体・カンジダ
症などが起こりやすくなる
抗ウイルス治療により CD4 は回復する
日和見感染症など HIV に特徴的な疾患が起こりやすくなる
感染
時間
(CD4 については裏面を参照して下さい)

上の図のように、HIV に感染してもすぐに症状がでるわけではありません。数年～十数年間は何の症状もない期間があり、HIV の血液検査を受けなければ感染していることを知ることはできません。感染していることを知らないうちに他の人に感染させる可能性もあります。

◆ HIV 感染の考え方 ◆

HIV に感染して治癒していない人の体液の中で HIV が存在するところ

精液 (先走り液も含む)
血液
膣分泌液・母乳

↓ 接触により感染の可能性

HIV が体の中に入る窓口

粘膜 (性器・直腸・口腔内)
傷口 (傷のない皮膚は除く)

HIV を含む血液・精液・膣分泌液が直接粘膜や傷口に接触することで感染する可能性が生じますが、多くの場合コンドーム使用などの工夫で直接の接触を防ぐことができます。粘膜に炎症や潰瘍があると HIV は体内に侵入し易くなります。

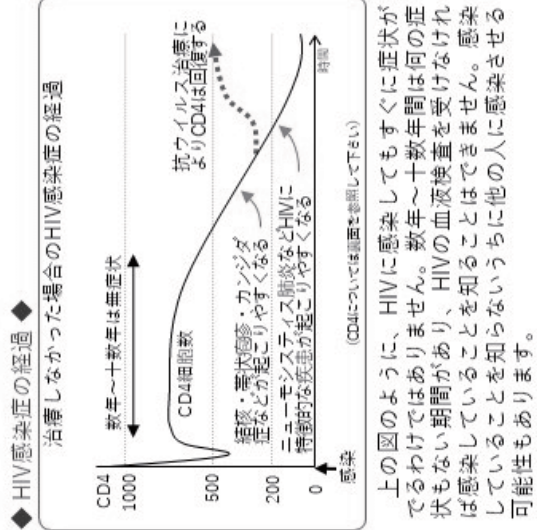
◆ HIV 感染の可能性のある性行為 ◆

HIV が移るし ていない人	相手	○ 感染の可能性あり × 感染の可能性なし	
		口	唾液に HIV は含まれないので感染しない
口	口 (キス)	×	×
	男性性器 (フェラチオ)	×	×
	女性性器 (ヴァジナル)	×	×
	肛門 (リミット)	×	×
男性性器	口 (フェラチオ)	○	HIV を含む唾液・口腔
	女性性器 (膣性交)	○	HIV を含む精液・膣粘膜
	肛門 (アナルセックス)	○	HIV を含む精液・直腸粘膜
女性性器	口 (ヴァジナル)	○	HIV を含む膣分泌液・口腔粘膜
	男性性器 (膣性交)	○	HIV を含む膣分泌液・ペニスの先・尿道
肛門	口 (リミット)	○	肛門の出血・口腔粘膜
	男性性器 (アナルセックス)	○	直腸肛門からの出血・ペニスの先・尿道

・ 共用の注射器の共用は感染の可能性が高い。

**** HIV と AIDS ****

- ◆ HIV/AIDS の基礎知識 ◆
- ・ HIV とは Human Immunodeficiency Virus (ヒト免疫不全ウイルス) の略で、HIV に感染した状態を放置すると、数年～十数年の間に次第に免疫機能が低下してきます。
 - ・ AIDS (エイズ) とは Acquired Immune Deficiency Syndrome (後天性免疫不全症候群) の略で、HIV によって免疫機能が低下し、日和見感染症を発生した状態をさします。
 - ・ 免疫とは、病原体 (病気の原因となる微生物) が体の中に入り込んだときその病原体の増殖を抑制し排除しようとするシステムのことで、日和見感染症とは、免疫機能が低下したときにのみ発症する感染症です。たとえば、AIDS に特徴的な疾患のひとつである「ニューモシスチス肺炎 (カリニ肺炎)」の原因となる真菌 (カビ) は、多くの人の肺の中にもいますが、免疫機能が低下しない限り肺炎を引き起こすことはありません。
 - ・ つまり、HIV とはウイルスの名前で、AIDS とは HIV による病気の名前です。



～ HIV 陰性 (一) の結果について～



快速あんしん検査上野駅
2018年12月14日

- ◆ 「HIV 陰性」の意味 ◆
- 「HIV 陰性」という結果は、あなたが HIV に感染していないことを示しています。今回の結果は、これまでのあなたの行為 (主に性行為) が HIV 感染の可能性のなかったことを示しているのかもしれない。あるいは、感染の可能性のある行為があったけれども偶然に感染しなかっただけかもしれません。
- ◆ 感染の可能性のある行為と検査の時期 ◆
- HIV に感染しても、血液検査ですぐに「HIV 陽性」の結果が出るわけではなく、ある程度の期間がかります。したがって、ごく最近に感染の可能性のある行為 (多くの場合性行為) があれば、この「HIV 陰性」という結果は確定的なものとはいえません。HIV に感染すれば、おおむね 4 週間以内に「HIV 陽性」の結果が出るので考えられていますが、この期間には個人差があるため、感染の可能性のある機会があつて 90 日を経過して「陰性」であれば感染していないと判断します。
- したがって、最後に感染のリスクのある行為があつて 90 日以内に検査を受けられた場合、感染していないことを確認するために、もう一度検査を受けることをお勧めします。採血日からさかのぼって 90 日以内に新たな感染機会がなければ感染していないことが確実です。

図8. HIV検査の結果に関する説明書 (B) (A, BはA4用紙に両面印刷で使用)

**** HIV感染症の治療 ****

**** HIVと生活 ****

～HIV陽性 (+) の結果について～



快速あんしん検査上野駅
2018年12月14日

14日にお伝えする内容は「確認検査が必要です」までです。「HIV陽性」かどうかは確認検査をするまでわかりません。

◆ 「HIV陽性」の意味 ◆

「HIV陽性」という検査結果は、あなたの体の中にHIVというウイルスがいることを意味しています。感染をそのままにしておくと次第に免疫機能が低下してきて、日和見感染症にかかる可能性が高まります。現在の抗ウイルス治療は、免疫機能が低下を抑えることができず、一旦低下した免疫機能の回復も期待できません。陽性とわかれれば医療機関を受診して自分の免疫状態 (CD4など) を知ることが大切です。

◆ 自分の免疫状態を知る ◆

HIVに感染していることがわかって病院に行くのと、詳しい血液検査がおこなわれます。血液中で免疫を担当しているのが「白血球」ですが、その中で免疫をコントロールしているのが「CD4陽性リンパ球=CD4」と呼ばれる細胞です。通常は血液1μl (mm³) 中に700～1500個程度ありますが、HIVに感染すると次第に減少し、おおよそ200以下になると「日和見感染症」にかかりやすくなります。CD4は現在のあなたの免疫状態を評価し、抗ウイルス治療の開始を検討するための重要な指標です。

◆ 白血球・リンパ球・CD4 ◆



◆ 抗ウイルス治療薬 ◆

1996年以降、副作用が少なく強力な抗ウイルス作用を持った薬が次々に開発され、現在20種類以上の薬が使用できます。このうち3～4種の薬を組み合わせて内服する「多剤併用治療」により、AIDS発症率や死亡率は大きく減少しています。今では1日1回1錠で十分な効果がある薬剤が治療の主流になって来ています。しかし現在の抗ウイルス治療では、体内からHIVを完全になくすることは難しいと考えられています。

◆ 抗ウイルス治療の開始時期 ◆

HIV陽性とわかれば、ガイドライン (治療指針) に基づいて内服治療が勧められることとなります。CD4が低ければ、日和見感染症を発症する可能性があるので直ちに治療を開始する必要があります。最近の研究ではCD4に関係なく早期に治療を開始した方が、HIVに関連した疾患だけでなくHIVと直接関係のない疾患のリスクも減少することがわかってきました。また、治療により血液中のウイルス量が十分抑制されれば、他の人への感染を予防することも明らかになり、できるだけ早い治療開始が推奨されるようになって来ています。行なわない場合CD4が低下するスピードは個人差が大きいため、1～3ヶ月に1回程度の定期的な血液検査が必要です。

◆ HIV感染症診療拠点病院 ◆

全国に「ブロック拠点病院」「中核拠点病院」「拠点病院」が指定されています。

◆ 医療費 ◆

最初は健康保険を利用して診療を受けることになり、通常は医療費の3割が自己負担となりますが、抗ウイルス治療が始まると医療費の助成制度が利用できます (所得に応じた自己負担あり)。多くの病院でMSW (医療ソーシャルワーカー) が相談に応じています。健康保険や助成制度を利用することでプライバシーが漏れる心配はありません。

これまでの生活を基本的に変える必要はありません。

◆ 仕事など ◆

HIV陽性だからできない、というものはありません。感染がわかった多くの人が、それまでと変わらずに仕事や学業を続けています。職場や学校でHIV陽性であることを表明している人もいます。陽性であることを伝えなければならぬというような義務はありません。

◆ だれに伝えるか ◆

HIV陽性の結果を、いつ誰に伝えるかということとは、よく考えて決めるほうがよいでしょう。セックスのパートナーには結果を伝えてHIV検査を勧める必要がありますが、急ぐことはありません。また、信頼できる人に伝えて支援を得ることも大切ですが、いづれもあなた自身がHIVのことを十分理解してからでも遅くないと思います。

◆ セックス ◆

病院で治療を行い、血液中のHIVのウイルス量が6カ月以上にならわかって検出限界以下となっていればHIV陽性は、セックスをすることによって相手にHIVを感染させる可能性はありません。しかし、あなたも相手も他の性感染症に感染する可能性はあります。このような感染を防ぐためには、性感染症がどのように感染するのかよく理解し、あなたに合った方法を見つけていくことが大切です。

◆ 誰かに相談したいとき ◆

病院によってはHIV専門のカウンセラーがいますが、あなたが受診した病院に専門カウンセラーがいない場合には、自治体の「派遣カウンセラー制度」を無料で利用することができず、カウンセリングを受けなくなった場合は主治医に相談してください。

陽性者のグループ・陽性者を支援する団体や電話相談もあります。ご希望に応じて紹介します。別途配布する資料をご覧ください。

表1. 受検者の属性（年度別、3年度合計）

	16年度 n=94		17年度 n=135		18年度 n=159		3年度合計 n=388	
	n	%	n	%	n	%	n	%
性別								
男	93	(98.9%)	134	(99.3%)	158	(99.4%)	385	(99.2%)
女	0	(0.0%)	0	(0.0%)	0	(0.0%)	0	(0.0%)
その他	1	(1.1%)	0	(0.0%)	0	(0.0%)	1	(0.3%)
n.a.	0	(0.0%)	1	(0.7%)	1	(0.6%)	2	(0.5%)
年齢階級（年齢のみ各年度の受検者総数を n とする）								
20歳代	26	(27.7%)	30	(21.9%)	34	(21.3%)	90	(23.0%)
30歳代	37	(39.4%)	35	(25.5%)	53	(33.1%)	125	(32.0%)
40歳代	24	(25.5%)	61	(44.5%)	58	(36.3%)	143	(36.6%)
50歳以上	7	(7.4%)	11	(8.0%)	15	(9.4%)	33	(8.4%)
居住地区								
東京都	63	(67.0%)	90	(66.7%)	101	(63.5%)	254	(65.5%)
神奈川県	9	(9.6%)	10	(7.4%)	14	(8.8%)	33	(8.5%)
埼玉県	8	(8.5%)	19	(14.1%)	28	(17.6%)	55	(14.2%)
千葉県	9	(9.6%)	13	(9.6%)	12	(7.5%)	34	(8.8%)
その他	5	(5.3%)	1	(0.7%)	4	(2.5%)	10	(2.6%)
n.a.	0	(0.0%)	2	(1.5%)	0	(0.0%)	2	(0.5%)
市区町村、その他の地域								
台東区	9	(9.6%)	13	(9.5%)	15	(9.4%)	37	(9.5%)
足立区	4	(4.3%)	5	(3.6%)	8	(5.0%)	17	(4.3%)
葛飾区	1	(1.1%)	8	(5.8%)	5	(3.1%)	14	(3.6%)
中野区	6	(6.4%)	7	(5.1%)	1	(0.6%)	14	(3.6%)
北区	3	(3.2%)	8	(5.8%)	3	(1.9%)	14	(3.6%)
新宿区	0	(0.0%)	5	(3.6%)	8	(5.0%)	13	(3.3%)
江戸川区	3	(3.2%)	4	(2.9%)	4	(2.5%)	11	(2.8%)
杉並区	4	(4.3%)	3	(2.2%)	3	(1.9%)	10	(2.6%)
江東区	2	(2.1%)	3	(2.2%)	4	(2.5%)	9	(2.3%)
荒川区	4	(4.3%)	3	(2.2%)	2	(1.3%)	9	(2.3%)
世田谷区	3	(3.2%)	2	(1.5%)	3	(1.9%)	8	(2.0%)
墨田区	0	(0.0%)	3	(2.2%)	5	(3.1%)	8	(2.0%)
大田区	1	(1.1%)	4	(2.9%)	2	(1.3%)	7	(1.8%)
板橋区	1	(1.1%)	3	(2.2%)	3	(1.9%)	7	(1.8%)
豊島区	2	(2.1%)	1	(0.7%)	3	(1.9%)	6	(1.5%)
練馬区	4	(4.3%)	2	(1.5%)	0	(0.0%)	6	(1.5%)
渋谷区	3	(3.2%)	1	(0.7%)	0	(0.0%)	4	(1.0%)
千代田区	3	(3.2%)	0	(0.0%)	1	(0.6%)	4	(1.0%)
品川区	2	(2.1%)	2	(1.5%)	0	(0.0%)	4	(1.0%)
文京区	0	(0.0%)	1	(0.7%)	3	(1.9%)	4	(1.0%)
茨城県	1	(1.1%)	1	(0.7%)	1	(0.6%)	3	(0.8%)
港区	0	(0.0%)	0	(0.0%)	2	(1.3%)	2	(0.5%)
国分寺市	0	(0.0%)	0	(0.0%)	2	(1.3%)	2	(0.5%)
中央区	1	(1.1%)	0	(0.0%)	1	(0.6%)	2	(0.5%)
栃木県	1	(1.1%)	0	(0.0%)	1	(0.6%)	2	(0.5%)
目黒区	1	(1.1%)	1	(0.7%)	0	(0.0%)	2	(0.5%)
愛知県	0	(0.0%)	0	(0.0%)	1	(0.6%)	1	(0.3%)
群馬県	1	(1.1%)	0	(0.0%)	0	(0.0%)	1	(0.3%)
滋賀県	0	(0.0%)	0	(0.0%)	1	(0.6%)	1	(0.3%)
西東京市	0	(0.0%)	1	(0.7%)	0	(0.0%)	1	(0.3%)
町田市	0	(0.0%)	1	(0.7%)	0	(0.0%)	1	(0.3%)
調布市	0	(0.0%)	0	(0.0%)	1	(0.6%)	1	(0.3%)
東久留米市	0	(0.0%)	0	(0.0%)	1	(0.6%)	1	(0.3%)
府中市	0	(0.0%)	0	(0.0%)	1	(0.6%)	1	(0.3%)
職業								
経営・会社員・公務員	71	(75.5%)	95	(70.4%)	112	(70.4%)	278	(71.6%)
自営業・自由業	5	(5.3%)	14	(10.4%)	19	(11.9%)	38	(9.8%)
パート・アルバイト・フリーター	6	(6.4%)	15	(11.1%)	13	(8.2%)	34	(8.8%)
学生	6	(6.4%)	6	(4.4%)	8	(5.0%)	20	(5.2%)
その他	5	(5.3%)	2	(1.5%)	6	(3.8%)	13	(3.4%)
n.a.	1	(1.1%)	3	(2.2%)	1	(0.6%)	5	(1.3%)

表2. 検査相談会受検の理由（年度別、3年度合計）

	16年度 n=94		17年度 n=135		18年度 n=159		3年度合計 n=388	
	n	%	n	%	n	%	n	%
本日の「快速あんしん検査上野駅」を何で知りましたか								
ゲイバーやゲイショップにあったチラシ	1	(1.1%)	8	(6.0%)	9	(5.7%)	18	(4.7%)
ハッテン場にあったチラシ	0	(0.0%)	1	(0.7%)	2	(1.3%)	3	(0.8%)
Facebookやtwitter	6	(6.5%)	9	(6.7%)	16	(10.1%)	31	(8.0%)
アプリ広告 (9MONSTERS)	62	(66.7%)	119	(88.8%)	108	(67.9%)	289	(74.9%)
aktaのwebサイト (akta.jp/anshin)	4	(4.3%)	2	(1.5%)	9	(5.7%)	15	(3.9%)
HIV検査相談マップ	8	(8.6%)	2	(1.5%)	15	(9.4%)	25	(6.5%)
知人からの口コミ	14	(15.1%)	7	(5.2%)	8	(5.0%)	29	(7.5%)
医療機関や電話相談の紹介	0	(0.0%)	0	(0.0%)	1	(0.6%)	1	(0.3%)
その他	4	(4.3%)	0	(0.0%)	2	(1.3%)	6	(1.6%)
本日の「快速あんしん検査上野駅」を選んだ理由はなんですか								
HIVの結果が即日わかるから	75	(80.6%)	94	(70.1%)	99	(62.3%)	268	(69.4%)
来やすい場所(上野)だったから	40	(43.0%)	85	(63.4%)	86	(54.1%)	211	(54.7%)
梅毒の結果が即日わかるから	55	(59.1%)	65	(48.5%)	84	(52.8%)	204	(52.8%)
予約をする必要がないから	49	(52.7%)	68	(50.7%)	61	(38.4%)	178	(46.1%)
夜までやっているから			53	(39.6%)	54	(34.0%)	107	(27.7%)
友人知人が勧めていたから	11	(11.8%)	5	(3.7%)	7	(4.4%)	23	(6.0%)
aktaが広報をしている検査だから	6	(6.5%)	5	(3.7%)	8	(5.0%)	19	(4.9%)
相談ができるから			9	(6.7%)	10	(6.3%)	19	(4.9%)
その他	5	(5.4%)	3	(2.2%)	7	(4.4%)	15	(3.9%)
HIVあるいは梅毒検査を受検しようと思ったきっかけは何ですか								
HIVに感染している可能性があるから	19	(20.7%)	20	(14.8%)	28	(17.7%)	67	(17.4%)
梅毒に感染している可能性があるから	15	(16.3%)	10	(7.4%)	25	(15.8%)	50	(13.0%)
体調に変化があり,HIV感染の不安を感じたから	7	(7.6%)	8	(5.9%)	13	(8.2%)	28	(7.3%)
体調に変化があり,梅毒感染の不安を感じたから	8	(8.7%)	6	(4.4%)	8	(5.1%)	22	(5.7%)
HIVの情報に触れて,自分のことも心配になったから	15	(16.3%)	22	(16.3%)	23	(14.6%)	60	(15.6%)
梅毒の情報に触れて,自分のことも心配になったから	8	(8.7%)	10	(7.4%)	20	(12.7%)	38	(9.9%)
パートナーのHIV感染がわかったから	1	(1.1%)	2	(1.5%)	2	(1.3%)	5	(1.3%)
パートナーの梅毒感染がわかったから	1	(1.1%)	1	(0.7%)	0	(0.0%)	2	(0.5%)
自分がHIV/梅毒以外の性感染症にかかったから	1	(1.1%)	2	(1.5%)	4	(2.5%)	7	(1.8%)
病院や診療所でHIV検査を受けにくいから	10	(10.9%)	20	(14.8%)	15	(9.5%)	45	(11.7%)
定期的にHIV検査を受けているから	29	(31.5%)	41	(30.4%)	52	(32.9%)	122	(31.7%)
HIVに感染しても様々な支援を受けられると知ったから	2	(2.2%)	2	(1.5%)	3	(1.9%)	7	(1.8%)
友人知人にすすめられたから	12	(13.0%)	3	(2.2%)	7	(4.4%)	22	(5.7%)
新しいパートナーができたから	7	(7.6%)	9	(6.7%)	17	(10.8%)	33	(8.6%)
パートナーと一緒に受けることにしたから	3	(3.3%)	2	(1.5%)	1	(0.6%)	6	(1.6%)
ただ単に知りたいから	25	(27.2%)	47	(34.8%)	55	(34.8%)	127	(33.0%)
ずっと受けたいと思っていたから			38	(28.1%)	26	(16.5%)	64	(16.6%)
その他	7	(7.6%)	8	(5.9%)	3	(1.9%)	18	(4.7%)
一般向けの検査に比べて、ゲイ・バイセクシュアル男性限定の検査のほうが受けやすいと思いますか								
そう思う	56	(59.6%)	81	(60.0%)	96	(60.4%)	233	(60.1%)
どちらとも言えない	29	(30.9%)	39	(28.9%)	40	(25.2%)	108	(27.8%)
そう思わない	8	(8.5%)	15	(11.1%)	22	(13.8%)	45	(11.6%)
n.a.	1	(1.1%)	0	(0.0%)	1	(0.6%)	2	(0.5%)
今回を除いて、これまでにHIV検査を受けたいと思ったことがありますか								
ある	83	(88.3%)	130	(96.3%)	142	(89.3%)	355	(91.5%)
ない	9	(9.6%)	3	(2.2%)	15	(9.4%)	27	(7.0%)
n.a.	2	(2.1%)	2	(1.5%)	2	(1.3%)	6	(1.5%)

表3. HIV 検査受検の経験とこれまで未受検の理由、過去の受検場所（年度別、3年度合計）

	16年度 n=94		17年度 n=135		18年度 n=159		3年度合計 n=388	
	n	%	n	%	n	%	n	%
HIV検査を受けたのは今回で何回目ですか								
初めて	23	(24.5%)	21	(15.6%)	37	(23.3%)	81	(20.9%)
2回目	20	(21.3%)	26	(19.3%)	32	(20.1%)	78	(20.1%)
3~5回目	33	(35.1%)	57	(42.2%)	62	(39.0%)	152	(39.2%)
6回以上	18	(19.1%)	29	(21.5%)	28	(17.6%)	75	(19.3%)
複数回	0	(0.0%)	1	(0.7%)	0	(0.0%)	1	(0.3%)
n.a.	0	(0.0%)	1	(0.7%)	0	(0.0%)	1	(0.3%)
いまだHIV検査を受けなかったのはなぜですか（検査初受検者に対して）								
きっかけがなかったから	17	(73.9%)	15	(71.4%)	21	(56.8%)	53	(65.4%)
検査できる場所を知らなかったから	4	(17.4%)	4	(19.0%)	8	(21.6%)	16	(19.8%)
HIVに感染している可能性がないから	3	(13.0%)	1	(4.8%)	2	(5.4%)	6	(7.4%)
お金がかかるから	2	(8.7%)	3	(14.3%)	6	(16.2%)	11	(13.6%)
周りの人も検査を受けていないから	0	(0.0%)	0	(0.0%)	1	(2.7%)	1	(1.2%)
HIVに感染しているのではと他の人から疑われるから	1	(4.3%)	1	(4.8%)	2	(5.4%)	4	(4.9%)
あいまいなままにしておきたいから	2	(8.7%)	4	(19.0%)	3	(8.1%)	9	(11.1%)
感染がわかった後の生活が大変そうだから	2	(8.7%)	6	(28.6%)	4	(10.8%)	12	(14.8%)
ゲイであることを検査で話さなければならぬから	1	(4.3%)	4	(19.0%)	2	(5.4%)	7	(8.6%)
HIVに感染していることがわかることが怖いから	4	(17.4%)	7	(33.3%)	10	(27.0%)	21	(25.9%)
HIVだとゲイであることを家族等へ説明が必要だから	0	(0.0%)	1	(4.8%)	4	(10.8%)	5	(6.2%)
その他	0	(0.0%)	0	(0.0%)	4	(10.8%)	4	(4.9%)
前回の検査時期（受検経験ありに対して）								
1年以内	34	(47.9%)	58	(50.9%)	61	(50.0%)	153	(49.8%)
1から3年	28	(39.4%)	36	(31.6%)	45	(36.9%)	109	(35.5%)
3年より前	9	(12.7%)	17	(14.9%)	16	(13.1%)	42	(13.7%)
n.a.	0	(0.0%)	3	(2.6%)	0	(0.0%)	3	(1.0%)
過去に検査をうけたことのある場所（受検経験ありに対して）								
東京都南新宿検査・相談室	20	(28.6%)	36	(32.1%)	39	(32.5%)	95	(31.5%)
東京都多摩地域検査・相談室	3	(4.3%)	5	(4.5%)	2	(1.7%)	10	(3.3%)
台東保健所	6	(8.6%)	12	(10.7%)	13	(10.8%)	31	(10.3%)
台東保健所以外の保健所	28	(40.0%)	31	(27.7%)	43	(35.8%)	102	(33.8%)
これまでの快速あんしん検査上野駅	0	(0.0%)	4	(3.6%)	14	(11.7%)	18	(6.0%)
イベント検査	15	(21.4%)	19	(17.0%)	15	(12.5%)	49	(16.2%)
病院・診療所	17	(24.3%)	30	(26.8%)	30	(25.0%)	77	(25.5%)
HIV Check	6	(8.6%)	7	(6.3%)	12	(10.0%)	25	(8.3%)
郵送検査	6	(8.6%)	4	(3.6%)	6	(5.0%)	16	(5.3%)
その他	7	(10.0%)	16	(14.3%)	10	(8.3%)	33	(10.9%)

表4. 感染リスクの認知と性行動, HIV 予防行動 (年度別、3年度合計)

	16年度 n=94		17年度 n=135		18年度 n=159		3年度合計 n=388	
	n	%	n	%	n	%	n	%
HIVに感染している可能性はどの程度あると思いますか								
かなりある	2	(2.1%)	2	(1.5%)	4	(2.5%)	8	(2.1%)
ある程度ある	36	(38.3%)	44	(32.6%)	58	(36.5%)	138	(35.6%)
ほとんど無い	52	(55.3%)	83	(61.5%)	84	(52.8%)	219	(56.4%)
まったくない	3	(3.2%)	5	(3.7%)	9	(5.7%)	17	(4.4%)
すでにHIV陽性を確認している	0	(0.0%)	0	(0.0%)	0	(0.0%)	0	(0.0%)
n.a.	1	(1.1%)	1	(0.7%)	4	(2.5%)	6	(1.5%)
感染の心当たりとなる行為は何ですか								
男性とのセックス	89	(96.7%)	134	(99.3%)	143	(92.3%)	366	(95.8%)
女性とのセックス	5	(5.4%)	6	(4.4%)	16	(10.3%)	27	(7.1%)
乱交	8	(8.7%)	10	(7.4%)	9	(5.8%)	27	(7.1%)
ハッテン場でのセックス	30	(32.6%)	52	(38.5%)	46	(29.7%)	128	(33.5%)
薬物を使用したセックス	0	(0.0%)	2	(1.5%)	0	(0.0%)	2	(0.5%)
注射針などの共用	0	(0.0%)	0	(0.0%)	0	(0.0%)	0	(0.0%)
その他	1	(1.1%)	1	(0.7%)	3	(1.9%)	5	(1.3%)
その行為があつてからの期間はどれくらいですか								
30日未満	18	(19.1%)	27	(20.0%)	32	(20.1%)	77	(19.8%)
30日以上90日未満	24	(25.5%)	45	(33.3%)	41	(25.8%)	110	(28.4%)
90日以上1年未満	46	(48.9%)	59	(43.7%)	73	(45.9%)	178	(45.9%)
1年以上	1	(1.1%)	3	(2.2%)	6	(3.8%)	10	(2.6%)
n.a.	5	(5.3%)	1	(0.7%)	7	(4.4%)	13	(3.4%)
今までに男性とアナルセックスをしたことがありますか								
ない	4	(4.3%)	4	(3.0%)	14	(8.8%)	22	(5.7%)
過去6カ月の間にある	76	(80.9%)	97	(71.9%)	106	(66.7%)	279	(71.9%)
過去6カ月から1年の間にある	6	(6.4%)	20	(14.8%)	18	(11.3%)	44	(11.3%)
1年以上前にある	5	(5.3%)	9	(6.7%)	16	(10.1%)	30	(7.7%)
あるけどいつかは覚えていない	2	(2.1%)	5	(3.7%)	3	(1.9%)	10	(2.6%)
n.a.	1	(1.1%)	0	(0.0%)	2	(1.3%)	3	(0.8%)
前回アナルセックスをした時、コンドームを使いましたか								
使った	52	(55.3%)	80	(59.3%)	83	(52.2%)	215	(55.4%)
使わなかった	35	(37.2%)	47	(34.8%)	55	(34.6%)	137	(35.3%)
覚えていない	3	(3.2%)	4	(3.0%)	6	(3.8%)	13	(3.4%)
n.a.	4	(4.3%)	4	(3.0%)	15	(9.4%)	23	(5.9%)
過去6ヶ月間のアナルセックスで、どの程度コンドームを使いましたか								
毎回必ず使用	27	(28.7%)	53	(39.3%)	51	(32.1%)	131	(33.8%)
使用が多かった	29	(30.9%)	31	(23.0%)	43	(27.0%)	103	(26.5%)
五分五分	15	(16.0%)	21	(15.6%)	15	(9.4%)	51	(13.1%)
不使用が多かった	10	(10.6%)	14	(10.4%)	17	(10.7%)	41	(10.6%)
全く不使用	5	(5.3%)	6	(4.4%)	10	(6.3%)	21	(5.4%)
n.a.	8	(8.5%)	10	(7.4%)	23	(14.5%)	41	(10.6%)
HIVを含む性感染症の予防のためにコンドームを使いたいと思っていましたか								
はい	69	(73.4%)	98	(72.6%)	114	(71.7%)	281	(72.4%)
いいえ	1	(1.1%)	3	(2.2%)	4	(2.5%)	8	(2.1%)
相手次第	17	(18.1%)	30	(22.2%)	24	(15.1%)	71	(18.3%)
考えていない	1	(1.1%)	0	(0.0%)	2	(1.3%)	3	(0.8%)
コンドーム以外の予防法	0	(0.0%)	0	(0.0%)	1	(0.6%)	1	(0.3%)
その他	0	(0.0%)	0	(0.0%)	1	(0.6%)	1	(0.3%)
n.a.	6	(6.4%)	4	(3.0%)	13	(8.2%)	23	(5.9%)

表5. HIV 予防や支援に関する資源の認知（年度別、3年度合計）

	16年度 n=94		17年度 n=135		18年度 n=159		3年度合計 n=388	
	n	%	n	%	n	%	n	%
次のコミュニティセンターを知っていますか								
ZEL（宮城県仙台市）	3	(3.4%)	2	(1.6%)	4	(2.5%)	9	(2.4%)
akta（東京都新宿区）	48	(55.2%)	78	(60.9%)	96	(61.1%)	222	(59.7%)
SHIP（神奈川県横浜市）	10	(11.5%)	24	(18.8%)	17	(10.8%)	51	(13.7%)
rise（愛知県名古屋市）	5	(5.7%)	7	(5.5%)	5	(3.2%)	17	(4.6%)
dista（大阪府大阪市）	10	(11.5%)	7	(5.5%)	14	(8.9%)	31	(8.3%)
haco（福岡県福岡市）	1	(1.1%)	5	(3.9%)	12	(7.6%)	18	(4.8%)
mabui（沖縄県那覇市）	1	(1.1%)	5	(3.9%)	7	(4.5%)	13	(3.5%)
いずれも知らない	34	(39.1%)	45	(35.2%)	57	(36.3%)	136	(36.6%)
これまでも都内でゲイ・バイセクシュアル向けの向けのHIV検査会があったことを知っていましたか								
知っていた	22	(23.4%)	101	(74.8%)	113	(71.1%)	236	(60.8%)
知らなかった	68	(72.3%)	34	(25.2%)	46	(28.9%)	148	(38.1%)
n.a.	4	(4.3%)	0	(0.0%)	0	(0.0%)	4	(1.0%)
HIV予防に関連する次のwebサイトや検査相談等の支援を知っていますか								
HIV検査相談マップ（webサイト）	50	(71.4%)	74	(74.7%)	88	(73.3%)	212	(73.4%)
HIVマップ（webサイト）	24	(34.3%)	37	(37.4%)	52	(43.3%)	113	(39.1%)
東京都HIV検査情報web（webサイト）	14	(20.0%)	39	(39.4%)	46	(38.3%)	99	(34.3%)
東京都南新宿検査・相談室（webサイト）	28	(40.0%)	46	(46.5%)	44	(36.7%)	118	(40.8%)
東京都多摩地域検査・相談室	6	(8.6%)	10	(10.1%)	8	(6.7%)	24	(8.3%)
電話相談	14	(20.0%)	15	(15.2%)	14	(11.7%)	43	(14.9%)

表6. HIV および性感染症に関する知識（年度別、3年度合計）

	16年度 n=94		17年度 n=135		18年度 n=159		3年度合計 n=388	
	n	%	n	%	n	%	n	%
[知識]HIVに感染しても、適切な治療を受ければ、体内のウイルス量をおさえることができる。								
正しい	82	(87.2%)	130	(96.3%)	135	(84.9%)	347	(89.4%)
間違っている	5	(5.3%)	2	(1.5%)	10	(6.3%)	17	(4.4%)
わからない	6	(6.4%)	3	(2.2%)	13	(8.2%)	22	(5.7%)
n.a.	1	(1.1%)	0	(0.0%)	1	(0.6%)	2	(0.5%)
[知識]男性同性間のセックスを行っている人は、年に1,2回、定期的にHIV検査を受けたほうが良い。								
正しい	84	(89.4%)	123	(91.1%)	144	(90.6%)	351	(90.5%)
間違っている	2	(2.1%)	7	(5.2%)	7	(4.4%)	16	(4.1%)
わからない	7	(7.4%)	5	(3.7%)	7	(4.4%)	19	(4.9%)
n.a.	1	(1.1%)	0	(0.0%)	1	(0.6%)	2	(0.5%)
[知識]保健所では名前を言わずに無料でHIV検査を受けることができる。								
正しい	87	(92.6%)	126	(93.3%)	146	(91.8%)	359	(92.5%)
間違っている	0	(0.0%)	5	(3.7%)	2	(1.3%)	7	(1.8%)
わからない	6	(6.4%)	3	(2.2%)	11	(6.9%)	20	(5.2%)
n.a.	1	(1.1%)	1	(0.7%)	0	(0.0%)	2	(0.5%)
[知識]学校や職場の健康診断でHIVに感染していることが分かる人もいる。								
正しい	11	(11.7%)	10	(7.4%)	15	(9.4%)	36	(9.3%)
間違っている	56	(59.6%)	82	(60.7%)	95	(59.7%)	233	(60.1%)
わからない	25	(26.6%)	43	(31.9%)	46	(28.9%)	114	(29.4%)
n.a.	2	(2.1%)	0	(0.0%)	3	(1.9%)	5	(1.3%)
[知識]風邪のような症状で病院を受診したときに何も言われなければ、HIVに感染していない。								
正しい	5	(5.3%)	2	(1.5%)	2	(1.3%)	9	(2.3%)
間違っている	75	(79.8%)	107	(79.3%)	129	(81.1%)	311	(80.2%)
わからない	12	(12.8%)	26	(19.3%)	26	(16.4%)	64	(16.5%)
n.a.	2	(2.1%)	0	(0.0%)	2	(1.3%)	4	(1.0%)
[知識]梅毒の初期症状には必ず痛みをとまなう症状が出る。								
正しい	9	(9.6%)	3	(2.2%)	4	(2.5%)	16	(4.1%)
間違っている	38	(40.4%)	77	(57.0%)	103	(64.8%)	218	(56.2%)
わからない	43	(45.7%)	52	(38.5%)	51	(32.1%)	146	(37.6%)
n.a.	4	(4.3%)	3	(2.2%)	1	(0.6%)	8	(2.1%)

表7. 受検者の属性（年度別・受検経験別）

	16年度		17年度		18年度		合計	
	HIV検査の受検経験		HIV検査の受検経験		HIV検査の受検経験		HIV検査の受検経験	
	初回 n=23	それ以外 n=71	初回 n=21	それ以外 n=114	初回 n=37	それ以外 n=122	初回 n=81	それ以外 n=307
	n	%	n	%	n	%	n	%
性別								
男	22 (95.7%)	71 (100%)	21 (100%)	113 (99%)	37 (100%)	121 (99%)	80 (98.8%)	305 (99%)
女	0 (0.0%)	0 (0.0%)	0 (0.0%)	0 (0.0%)	0 (0.0%)	0 (0.0%)	0 (0.0%)	0 (0.0%)
その他	1 (4.3%)	0 (0.0%)	0 (0.0%)	0 (0.0%)	0 (0.0%)	0 (0.0%)	1 (1.2%)	0 (0.0%)
n.a.	0 (0.0%)	0 (0.0%)	0 (0.0%)	1 (0.9%)	0 (0.0%)	1 (0.8%)	0 (0.0%)	2 (0.7%)
年齢階級(年齢のみ各年度の受検者総数をnとする)								
20歳代	10 (43.5%)	16 (22.5%)	7 (33.3%)	23 (19.8%)	13 (35.1%)	21 (17.1%)	30 (37.0%)	60 (19.4%)
30歳代	5 (21.7%)	32 (45.1%)	5 (23.8%)	30 (25.9%)	10 (27.0%)	43 (35.0%)	20 (24.7%)	105 (33.9%)
40歳代	6 (26.1%)	18 (25.4%)	8 (38.1%)	53 (45.7%)	12 (32.4%)	46 (37.4%)	26 (32.1%)	117 (37.7%)
50歳以上	2 (8.7%)	5 (7.0%)	1 (4.8%)	10 (8.6%)	2 (5.4%)	13 (10.6%)	5 (6.2%)	28 (9.0%)
居住地区								
東京都	18 (78.3%)	45 (63.4%)	12 (57.1%)	78 (68.4%)	17 (45.9%)	84 (68.9%)	47 (58.0%)	207 (67.4%)
神奈川県	2 (8.7%)	7 (9.9%)	2 (9.5%)	8 (7.0%)	7 (18.9%)	7 (5.7%)	11 (13.6%)	22 (7.2%)
埼玉県	3 (13.0%)	5 (7.0%)	4 (19.0%)	15 (13.2%)	8 (21.6%)	20 (16.4%)	15 (18.5%)	40 (13.0%)
千葉県	0 (0.0%)	9 (12.7%)	3 (14.3%)	10 (8.8%)	3 (8.1%)	9 (7.4%)	6 (7.4%)	28 (9.1%)
その他	0 (0.0%)	5 (7.0%)	0 (0.0%)	1 (0.9%)	2 (5.4%)	2 (1.6%)	2 (2.5%)	8 (2.6%)
n.a.	0 (0.0%)	0 (0.0%)	0 (0.0%)	2 (1.8%)	0 (0.0%)	0 (0.0%)	0 (0.0%)	2 (0.7%)
市区町村、その他の地域								
台東区	3 (13.0%)	6 (8.5%)	2 (9.5%)	11 (9.5%)	1 (2.7%)	14 (11.4%)	6 (7.4%)	31 (10.0%)
足立区	1 (4.3%)	3 (4.2%)	0 (0.0%)	5 (4.3%)	2 (5.4%)	6 (4.9%)	3 (3.7%)	14 (4.5%)
葛飾区	0 (0.0%)	1 (1.4%)	0 (0.0%)	8 (6.9%)	1 (2.7%)	4 (3.3%)	1 (1.2%)	13 (4.2%)
中野区	0 (0.0%)	6 (8.5%)	2 (9.5%)	5 (4.3%)	1 (2.7%)	0 (0.0%)	3 (3.7%)	11 (3.5%)
北区	0 (0.0%)	3 (4.2%)	1 (4.8%)	7 (6.0%)	1 (2.7%)	2 (1.6%)	2 (2.5%)	12 (3.9%)
新宿区	0 (0.0%)	0 (0.0%)	2 (9.5%)	3 (2.6%)	1 (2.7%)	7 (5.7%)	3 (3.7%)	10 (3.2%)
江戸川区	0 (0.0%)	3 (4.2%)	0 (0.0%)	4 (3.4%)	1 (2.7%)	3 (2.4%)	1 (1.2%)	10 (3.2%)
杉並区	3 (13.0%)	1 (1.4%)	0 (0.0%)	3 (2.6%)	0 (0.0%)	3 (2.4%)	3 (3.7%)	7 (2.3%)
江東区	0 (0.0%)	2 (2.8%)	0 (0.0%)	3 (2.6%)	0 (0.0%)	4 (3.3%)	0 (0.0%)	9 (2.9%)
荒川区	1 (4.3%)	3 (4.2%)	0 (0.0%)	3 (2.6%)	1 (2.7%)	1 (0.8%)	2 (2.5%)	7 (2.3%)
世田谷区	2 (8.7%)	1 (1.4%)	0 (0.0%)	2 (1.7%)	1 (2.7%)	2 (1.6%)	3 (3.7%)	5 (1.6%)
墨田区	0 (0.0%)	0 (0.0%)	1 (4.8%)	2 (1.7%)	0 (0.0%)	5 (4.1%)	1 (1.2%)	7 (2.3%)
大田区	0 (0.0%)	1 (1.4%)	0 (0.0%)	4 (3.4%)	1 (2.7%)	1 (0.8%)	1 (1.2%)	6 (1.9%)
板橋区	0 (0.0%)	1 (1.4%)	0 (0.0%)	3 (2.6%)	0 (0.0%)	3 (2.4%)	0 (0.0%)	7 (2.3%)
豊島区	1 (4.3%)	1 (1.4%)	0 (0.0%)	1 (0.9%)	0 (0.0%)	3 (2.4%)	1 (1.2%)	5 (1.6%)
練馬区	2 (8.7%)	2 (2.8%)	0 (0.0%)	2 (1.7%)	0 (0.0%)	0 (0.0%)	2 (2.5%)	4 (1.3%)
渋谷区	0 (0.0%)	3 (4.2%)	0 (0.0%)	1 (0.9%)	0 (0.0%)	0 (0.0%)	0 (0.0%)	4 (1.3%)
千代田区	0 (0.0%)	3 (4.2%)	0 (0.0%)	0 (0.0%)	0 (0.0%)	1 (0.8%)	0 (0.0%)	4 (1.3%)
品川区	2 (8.7%)	0 (0.0%)	0 (0.0%)	2 (1.7%)	0 (0.0%)	0 (0.0%)	2 (2.5%)	2 (0.6%)
文京区	0 (0.0%)	0 (0.0%)	1 (4.8%)	0 (0.0%)	0 (0.0%)	3 (2.4%)	1 (1.2%)	3 (1.0%)
茨城県	0 (0.0%)	1 (1.4%)	0 (0.0%)	1 (0.9%)	0 (0.0%)	1 (0.8%)	0 (0.0%)	3 (1.0%)
港区	0 (0.0%)	0 (0.0%)	0 (0.0%)	0 (0.0%)	1 (2.7%)	1 (0.8%)	1 (1.2%)	1 (0.3%)
国分寺市	0 (0.0%)	0 (0.0%)	0 (0.0%)	0 (0.0%)	1 (2.7%)	1 (0.8%)	1 (1.2%)	1 (0.3%)
中央区	0 (0.0%)	1 (1.4%)	0 (0.0%)	0 (0.0%)	0 (0.0%)	1 (0.8%)	0 (0.0%)	2 (0.6%)
栃木県	0 (0.0%)	1 (1.4%)	0 (0.0%)	0 (0.0%)	1 (2.7%)	0 (0.0%)	1 (1.2%)	1 (0.3%)
目黒区	0 (0.0%)	1 (1.4%)	0 (0.0%)	1 (0.9%)	0 (0.0%)	0 (0.0%)	0 (0.0%)	2 (0.6%)
愛知県	0 (0.0%)	0 (0.0%)	0 (0.0%)	0 (0.0%)	1 (2.7%)	0 (0.0%)	1 (1.2%)	0 (0.0%)
群馬県	0 (0.0%)	1 (1.4%)	0 (0.0%)	0 (0.0%)	0 (0.0%)	0 (0.0%)	0 (0.0%)	1 (0.3%)
滋賀県	0 (0.0%)	0 (0.0%)	0 (0.0%)	0 (0.0%)	0 (0.0%)	1 (0.8%)	0 (0.0%)	1 (0.3%)
西東京市	0 (0.0%)	0 (0.0%)	0 (0.0%)	1 (0.9%)	0 (0.0%)	0 (0.0%)	0 (0.0%)	1 (0.3%)
町田市	0 (0.0%)	0 (0.0%)	0 (0.0%)	1 (0.9%)	0 (0.0%)	0 (0.0%)	0 (0.0%)	1 (0.3%)
調布市	0 (0.0%)	0 (0.0%)	0 (0.0%)	0 (0.0%)	0 (0.0%)	1 (0.8%)	0 (0.0%)	1 (0.3%)
東久留米市	0 (0.0%)	0 (0.0%)	0 (0.0%)	0 (0.0%)	1 (2.7%)	0 (0.0%)	1 (1.2%)	0 (0.0%)
府中市	0 (0.0%)	0 (0.0%)	0 (0.0%)	0 (0.0%)	0 (0.0%)	1 (0.8%)	0 (0.0%)	1 (0.3%)
職業								
経営・会社員・公務員	16 (69.6%)	55 (77.5%)	14 (66.7%)	81 (71.1%)	19 (51.4%)	93 (76.2%)	49 (60.5%)	229 (74.6%)
自営業・自由業	1 (4.3%)	4 (5.6%)	1 (4.8%)	13 (11.4%)	6 (16.2%)	13 (10.7%)	8 (9.9%)	30 (9.8%)
パート・アルバイト・フリーター	3 (13.0%)	3 (4.2%)	3 (14.3%)	12 (10.5%)	5 (13.5%)	8 (6.6%)	11 (13.6%)	23 (7.5%)
学生	3 (13.0%)	3 (4.2%)	2 (9.5%)	4 (3.5%)	4 (10.8%)	4 (3.3%)	9 (11.1%)	11 (3.6%)
その他	0 (0.0%)	5 (7.0%)	1 (4.8%)	1 (0.9%)	3 (8.1%)	3 (2.5%)	4 (4.9%)	9 (2.9%)
n.a.	0 (0.0%)	1 (1.4%)	0 (0.0%)	3 (2.6%)	0 (0.0%)	1 (0.8%)	0 (0.0%)	5 (1.6%)

表8. 検査相談会受検の理由（年度別・受検経験別）

	16年度		17年度		18年度		合計									
	HIV検査の受検経験		HIV検査の受検経験		HIV検査の受検経験		HIV検査の受検経験									
	初回	それ以外	初回	それ以外	初回	それ以外	初回	それ以外								
	n=23	n=71	n=21	n=114	n=37	n=122	n=81	n=307								
	n	%	n	%	n	%	n	%								
HIVに感染している可能性はどの程度あると思いますか																
かなりある	1	(4.3%)	1	(1.4%)	0	(0.0%)	2	(1.8%)	2	(5.4%)	2	(1.6%)	3	(3.7%)	5	(1.6%)
ある程度ある	9	(39.1%)	27	(38.0%)	5	(23.8%)	39	(34.2%)	9	(24.3%)	49	(40.2%)	23	(28.4%)	115	(37.5%)
ほとんど無い	12	(52.2%)	40	(56.3%)	14	(66.7%)	69	(60.5%)	21	(56.8%)	63	(51.6%)	47	(58.0%)	172	(56.0%)
まったく無い	1	(4.3%)	2	(2.8%)	1	(4.8%)	4	(3.5%)	3	(8.1%)	6	(4.9%)	5	(6.2%)	12	(3.9%)
すでにHIV陽性を確認している	0	(0.0%)	0	(0.0%)	0	(0.0%)	0	(0.0%)	0	(0.0%)	0	(0.0%)	0	(0.0%)	0	(0.0%)
n.a.	0	(0.0%)	1	(1.4%)	1	(4.8%)	0	(0.0%)	2	(5.4%)	2	(1.6%)	3	(3.7%)	3	(1.0%)
感染の心当たりとなる行為は何ですか																
男性とのセックス	22	(95.7%)	67	(97.1%)	21	(100%)	113	(99.1%)	32	(91.4%)	111	(92.5%)	75	(94.9%)	291	(96.0%)
女性とのセックス	2	(8.7%)	3	(4.3%)	2	(9.5%)	4	(3.5%)	6	(17.1%)	10	(8.3%)	10	(12.7%)	17	(5.6%)
乱交	2	(8.7%)	6	(8.7%)	1	(4.8%)	9	(7.9%)	1	(2.9%)	8	(6.7%)	4	(5.1%)	23	(7.6%)
ハッテン場でのセックス	6	(26.1%)	24	(34.8%)	9	(42.9%)	43	(37.7%)	6	(17.1%)	40	(33.3%)	21	(26.6%)	107	(35.3%)
薬物を使用したセックス	0	(0.0%)	0	(0.0%)	0	(0.0%)	2	(1.8%)	0	(0.0%)	0	(0.0%)	0	(0.0%)	2	(0.7%)
注射針などの共用	0	(0.0%)	0	(0.0%)	0	(0.0%)	0	(0.0%)	0	(0.0%)	0	(0.0%)	0	(0.0%)	0	(0.0%)
その他	0	(0.0%)	1	(1.4%)	0	(0.0%)	1	(0.9%)	1	(2.9%)	2	(1.7%)	1	(1.3%)	4	(1.3%)
その行為があつてからの期間はどれくらいですか																
30日未満	10	(43.5%)	8	(11.3%)	5	(23.8%)	22	(19.3%)	9	(24.3%)	23	(18.9%)	24	(29.6%)	53	(17.3%)
30日以上90日未満	4	(17.4%)	20	(28.2%)	4	(19.0%)	41	(36.0%)	4	(10.8%)	37	(30.3%)	12	(14.8%)	98	(31.9%)
90日以上1年未満	6	(26.1%)	40	(56.3%)	10	(47.6%)	49	(43.0%)	16	(43.2%)	57	(46.7%)	32	(39.5%)	146	(47.6%)
1年以上	1	(4.3%)	0	(0.0%)	1	(4.8%)	2	(1.8%)	4	(10.8%)	2	(1.6%)	6	(7.4%)	4	(1.3%)
n.a.	2	(8.7%)	3	(4.2%)	1	(4.8%)	0	(0.0%)	4	(10.8%)	3	(2.5%)	7	(8.6%)	6	(2.0%)
今までに男性とアナルセックスをしたことがありますか																
ない	0	(0.0%)	4	(5.6%)	1	(4.8%)	3	(2.6%)	6	(16.2%)	8	(6.6%)	7	(8.6%)	15	(4.9%)
過去6カ月の間にある	19	(82.6%)	57	(80.3%)	14	(66.7%)	83	(72.8%)	21	(56.8%)	85	(69.7%)	54	(66.7%)	225	(73.3%)
過去6カ月から1年の間にある	3	(13.0%)	3	(4.2%)	4	(19.0%)	16	(14.0%)	3	(8.1%)	15	(12.3%)	10	(12.3%)	34	(11.1%)
1年以上前にある	1	(4.3%)	4	(5.6%)	1	(4.8%)	8	(7.0%)	4	(10.8%)	12	(9.8%)	6	(7.4%)	24	(7.8%)
あるけどいつかは覚えていない	0	(0.0%)	2	(2.8%)	1	(4.8%)	4	(3.5%)	2	(5.4%)	1	(0.8%)	3	(3.7%)	7	(2.3%)
n.a.	0	(0.0%)	1	(1.4%)	0	(0.0%)	0	(0.0%)	1	(2.7%)	1	(0.8%)	1	(1.2%)	2	(0.7%)
前回アナルセックスをした時、コンドームを使いましたか																
使った	13	(56.5%)	39	(54.9%)	15	(71.4%)	65	(57.0%)	17	(45.9%)	66	(54.1%)	45	(55.6%)	170	(55.4%)
使わなかった	8	(34.8%)	27	(38.0%)	5	(23.8%)	42	(36.8%)	11	(29.7%)	44	(36.1%)	24	(29.6%)	113	(36.8%)
覚えていない	2	(8.7%)	1	(1.4%)	0	(0.0%)	4	(3.5%)	2	(5.4%)	4	(3.3%)	4	(4.9%)	9	(2.9%)
n.a.	0	(0.0%)	4	(5.6%)	1	(4.8%)	3	(2.6%)	7	(18.9%)	8	(6.6%)	8	(9.9%)	15	(4.9%)
過去6ヶ月間のアナルセックスで、どの程度コンドームを使いましたか																
毎回必ず使用	6	(26.1%)	21	(29.6%)	10	(47.6%)	43	(37.7%)	11	(29.7%)	40	(32.8%)	27	(33.3%)	104	(33.9%)
使用が多かった	6	(26.1%)	23	(32.4%)	5	(23.8%)	26	(22.8%)	10	(27.0%)	33	(27.0%)	21	(25.9%)	82	(26.7%)
五分五分	4	(17.4%)	11	(15.5%)	3	(14.3%)	18	(15.8%)	3	(8.1%)	12	(9.8%)	10	(12.3%)	41	(13.4%)
不使用が多かった	3	(13.0%)	7	(9.9%)	0	(0.0%)	14	(12.3%)	3	(8.1%)	14	(11.5%)	6	(7.4%)	35	(11.4%)
全く不使用	3	(13.0%)	2	(2.8%)	1	(4.8%)	5	(4.4%)	1	(2.7%)	9	(7.4%)	5	(6.2%)	16	(5.2%)
n.a.	1	(4.3%)	7	(9.9%)	2	(9.5%)	8	(7.0%)	9	(24.3%)	14	(11.5%)	12	(14.8%)	29	(9.4%)
HIVを含む性感染症の予防のためにコンドームを使いたいと思っていましたか																
はい	18	(78.3%)	51	(71.8%)	16	(76.2%)	82	(71.9%)	25	(67.6%)	89	(73.0%)	59	(72.8%)	222	(72.3%)
いいえ	0	(0.0%)	1	(1.4%)	0	(0.0%)	3	(2.6%)	1	(2.7%)	3	(2.5%)	1	(1.2%)	7	(2.3%)
相手次第	4	(17.4%)	13	(18.3%)	4	(19.0%)	26	(22.8%)	5	(13.5%)	19	(15.6%)	13	(16.0%)	58	(18.9%)
考えていない	0	(0.0%)	1	(1.4%)	0	(0.0%)	0	(0.0%)	0	(0.0%)	2	(1.6%)	0	(0.0%)	3	(1.0%)
コンドーム以外の予防法	0	(0.0%)	0	(0.0%)	0	(0.0%)	0	(0.0%)	0	(0.0%)	1	(0.8%)	0	(0.0%)	1	(0.3%)
その他	0	(0.0%)	0	(0.0%)	0	(0.0%)	0	(0.0%)	0	(0.0%)	1	(0.8%)	0	(0.0%)	1	(0.3%)
n.a.	1	(4.3%)	5	(7.0%)	1	(4.8%)	3	(2.6%)	6	(16.2%)	7	(5.7%)	8	(9.9%)	15	(4.9%)

表9. HIV 検査受検の経験とこれまでの未受検理由, 過去の受検場所 (年度別・受検経験別)

	16年度				17年度				18年度				合計			
	HIV検査の受検経験				HIV検査の受検経験				HIV検査の受検経験				HIV検査の受検経験			
	初回		それ以外		初回		それ以外		初回		それ以外		初回		それ以外	
	n	%	n	%	n	%	n	%	n	%	n	%	n	%	n	%
HIV検査を受けたのは今回で何回目ですか																
初めて	23	(100%)	0	(0.0%)	21	(100%)	0	(0.0%)	37	(100%)	0	(0.0%)	81	(100%)	0	(0.0%)
2回目			20	(28.2%)			26	(22.8%)			32	(26.2%)			78	(25.4%)
3~5回目			33	(46.5%)			57	(50.0%)			62	(50.8%)			152	(49.5%)
6回以上			18	(25.4%)			29	(25.4%)			28	(23.0%)			75	(24.4%)
複数回			0	(0.0%)			1	(0.9%)			0	(0.0%)			1	(0.3%)
n.a.			0	(0.0%)			1	(0.9%)			0	(0.0%)			1	(0.3%)
いまだHIV検査を受けなかったのはなぜですか (検査発受検者に対して)																
きっかけがなかったから	17	(73.9%)			15	(71.4%)			21	(56.8%)			53	(65.4%)		
検査できる場所を知らなかったから	4	(17.4%)			4	(19.0%)			8	(21.6%)			16	(19.8%)		
HIVに感染している可能性がないから	3	(13.0%)			1	(4.8%)			2	(5.4%)			6	(7.4%)		
お金がかかるから	2	(8.7%)			3	(14.3%)			6	(16.2%)			11	(13.6%)		
周りの人も検査を受けていないから	0	(0.0%)			0	(0.0%)			1	(2.7%)			1	(1.2%)		
HIVに感染しているのではないかと他の人から疑われるから	1	(4.3%)			1	(4.8%)			2	(5.4%)			4	(4.9%)		
あいまいなままにしておきたいから	2	(8.7%)			4	(19.0%)			3	(8.1%)			9	(11.1%)		
感染がわかった後の生活が大変そうだから	2	(8.7%)			6	(28.6%)			4	(10.8%)			12	(14.8%)		
ゲイであることを検査で話さなければならぬから	1	(4.3%)			4	(19.0%)			2	(5.4%)			7	(8.6%)		
HIVに感染していることがわかることが怖いから	4	(17.4%)			7	(33.3%)			10	(27.0%)			21	(25.9%)		
HIVがわかるとゲイであることを家族等に説明しなければならぬから	0	(0.0%)			1	(4.8%)			4	(10.8%)			5	(6.2%)		
その他	0	(0.0%)			0	(0.0%)			4	(10.8%)			4	(4.9%)		
前回の検査時期 (受検経験ありに対して)																
1年以内			34	(47.9%)			58	(50.9%)			61	(50.0%)			153	(49.8%)
1から3年			28	(39.4%)			36	(31.6%)			45	(36.9%)			109	(35.5%)
3年より前			9	(12.7%)			17	(14.9%)			16	(13.1%)			42	(13.7%)
n.a.			0	(0.0%)			3	(2.6%)			0	(0.0%)			3	(1.0%)
過去に検査を受けたことのある場所 (受検経験ありに対して)																
東京都南新宿検査・相談室			20	(28.6%)			36	(32.1%)			39	(32.5%)			95	(31.5%)
東京都多摩地域検査・相談室			3	(4.3%)			5	(4.5%)			2	(1.7%)			10	(3.3%)
台東保健所			6	(8.6%)			12	(10.7%)			13	(10.8%)			31	(10.3%)
台東保健所以外の保健所			28	(40.0%)			31	(27.7%)			43	(35.8%)			102	(33.8%)
これまでの快速あんしん検査上野駅			0	(0.0%)			4	(3.6%)			14	(11.7%)			18	(6.0%)
イベント検査			15	(21.4%)			19	(17.0%)			15	(12.5%)			49	(16.2%)
病院・診療所			17	(24.3%)			30	(26.8%)			30	(25.0%)			77	(25.5%)
HIV Check			6	(8.6%)			7	(6.3%)			12	(10.0%)			25	(8.3%)
郵送検査			6	(8.6%)			4	(3.6%)			6	(5.0%)			16	(5.3%)
その他			7	(10.0%)			16	(14.3%)			10	(8.3%)			33	(10.9%)
受検しようと思ったきっかけは何ですか																
HIVに感染している可能性があるから	5	(21.7%)	14	(20.3%)	4	(19.0%)	16	(14.0%)	6	(16.2%)	22	(18.2%)	15	(18.5%)	52	(17.1%)
梅毒に感染している可能性があるから	1	(4.3%)	14	(20.3%)	0	(0.0%)	10	(8.8%)	8	(21.6%)	17	(14.0%)	9	(11.1%)	41	(13.5%)
体調に変化があり,HIV感染の不安を感じ	2	(8.7%)	5	(7.2%)	2	(9.5%)	6	(5.3%)	7	(18.9%)	6	(5.0%)	11	(13.6%)	17	(5.6%)
体調に変化があり,梅毒感染の不安を感じ	0	(0.0%)	8	(11.6%)	2	(9.5%)	4	(3.5%)	3	(8.1%)	5	(4.1%)	5	(6.2%)	17	(5.6%)
HIVの情報に触れて,自分のことかも心配	4	(17.4%)	11	(15.9%)	5	(23.8%)	17	(14.9%)	10	(27.0%)	13	(10.7%)	19	(23.5%)	41	(13.5%)
梅毒の情報に触れて,自分のことかも心配	2	(8.7%)	6	(8.7%)	3	(14.3%)	7	(6.1%)	7	(18.9%)	13	(10.7%)	12	(14.8%)	26	(8.6%)
パートナーのHIV感染がわかったから	0	(0.0%)	1	(1.4%)	0	(0.0%)	2	(1.8%)	0	(0.0%)	2	(1.7%)	0	(0.0%)	5	(1.6%)
パートナーの梅毒感染がわかったから	0	(0.0%)	1	(1.4%)	1	(4.8%)	0	(0.0%)	0	(0.0%)	0	(0.0%)	1	(1.2%)	1	(0.3%)
自分がHIV/梅毒以外の性感染症にか	0	(0.0%)	1	(1.4%)	0	(0.0%)	2	(1.8%)	0	(0.0%)	4	(3.3%)	0	(0.0%)	7	(2.3%)
病院や診療所でHIV検査を受けにくい	4	(17.4%)	6	(8.7%)	4	(19.0%)	16	(14.0%)	4	(10.8%)	11	(9.1%)	12	(14.8%)	33	(10.9%)
定期的にHIV検査を受けているから	0	(0.0%)	29	(42.0%)	0	(0.0%)	41	(36.0%)	0	(0.0%)	52	(43.0%)	0	(0.0%)	122	(40.1%)
HIVに感染しても様々な支援を受けら	1	(4.3%)	1	(1.4%)	1	(4.8%)	1	(0.9%)	1	(2.7%)	2	(1.7%)	3	(3.7%)	4	(1.3%)
友人知人にすすめられたから	7	(30.4%)	5	(7.2%)	1	(4.8%)	2	(1.8%)	4	(10.8%)	3	(2.5%)	12	(14.8%)	10	(3.3%)
新しいパートナーができたから	3	(13.0%)	4	(5.8%)	1	(4.8%)	8	(7.0%)	3	(8.1%)	14	(11.6%)	7	(8.6%)	26	(8.6%)
パートナーと一緒に受けることにした	0	(0.0%)	3	(4.3%)	1	(4.8%)	1	(0.9%)	1	(2.7%)	0	(0.0%)	2	(2.5%)	4	(1.3%)
ただ単に知りたいから	6	(26.1%)	19	(27.5%)	7	(33.3%)	40	(35.1%)	16	(43.2%)	39	(32.2%)	29	(35.8%)	98	(32.2%)
ずっと受けたいと思っていたから					14	(66.7%)	24	(21.1%)	14	(37.8%)	12	(9.9%)	28	(34.6%)	36	(11.8%)
その他	3	(13.0%)	4	(5.8%)	1	(4.8%)	7	(6.1%)	0	(0.0%)	3	(2.5%)	4	(4.9%)	14	(4.6%)

表10. 感染リスクの認知と性行動, HIV 予防行動 (年度別・受検経験別)

	16年度		17年度		18年度		合計									
	HIV検査の受検経験		HIV検査の受検経験		HIV検査の受検経験		HIV検査の受検経験									
	初回 n=23	それ以外 n=71	初回 n=21	それ以外 n=114	初回 n=37	それ以外 n=122	初回 n=81	それ以外 n=307								
	n	%	n	%	n	%	n	%								
HIVに感染している可能性はどの程度あると思いますか																
かなりある	1	(4.3%)	1	(1.4%)	0	(0.0%)	2	(1.8%)	2	(5.4%)	2	(1.6%)	3	(3.7%)	5	(1.6%)
ある程度ある	9	(39.1%)	27	(38.0%)	5	(23.8%)	39	(34.2%)	9	(24.3%)	49	(40.2%)	23	(28.4%)	115	(37.5%)
ほとんど無い	12	(52.2%)	40	(56.3%)	14	(66.7%)	69	(60.5%)	21	(56.8%)	63	(51.6%)	47	(58.0%)	172	(56.0%)
まったく無い	1	(4.3%)	2	(2.8%)	1	(4.8%)	4	(3.5%)	3	(8.1%)	6	(4.9%)	5	(6.2%)	12	(3.9%)
すでにHIV陽性を確認している	0	(0.0%)	0	(0.0%)	0	(0.0%)	0	(0.0%)	0	(0.0%)	0	(0.0%)	0	(0.0%)	0	(0.0%)
n.a.	0	(0.0%)	1	(1.4%)	1	(4.8%)	0	(0.0%)	2	(5.4%)	2	(1.6%)	3	(3.7%)	3	(1.0%)
感染の心当たりとなる行為は何ですか																
男性とのセックス	22	(95.7%)	67	(97.1%)	21	(100%)	113	(99.1%)	32	(91.4%)	111	(92.5%)	75	(94.9%)	291	(96.0%)
女性とのセックス	2	(8.7%)	3	(4.3%)	2	(9.5%)	4	(3.5%)	6	(17.1%)	10	(8.3%)	10	(12.7%)	17	(5.6%)
乱交	2	(8.7%)	6	(8.7%)	1	(4.8%)	9	(7.9%)	1	(2.9%)	8	(6.7%)	4	(5.1%)	23	(7.6%)
ハッテン場でのセックス	6	(26.1%)	24	(34.8%)	9	(42.9%)	43	(37.7%)	6	(17.1%)	40	(33.3%)	21	(26.6%)	107	(35.3%)
薬物を使用したセックス	0	(0.0%)	0	(0.0%)	0	(0.0%)	2	(1.8%)	0	(0.0%)	0	(0.0%)	0	(0.0%)	2	(0.7%)
注射針などの共用	0	(0.0%)	0	(0.0%)	0	(0.0%)	0	(0.0%)	0	(0.0%)	0	(0.0%)	0	(0.0%)	0	(0.0%)
その他	0	(0.0%)	1	(1.4%)	0	(0.0%)	1	(0.9%)	1	(2.9%)	2	(1.7%)	1	(1.3%)	4	(1.3%)
その行為があつてからの期間はどれくらいですか																
30日未満	10	(43.5%)	8	(11.3%)	5	(23.8%)	22	(19.3%)	9	(24.3%)	23	(18.9%)	24	(29.6%)	53	(17.3%)
30日以上90日未満	4	(17.4%)	20	(28.2%)	4	(19.0%)	41	(36.0%)	4	(10.8%)	37	(30.3%)	12	(14.8%)	98	(31.9%)
90日以上1年未満	6	(26.1%)	40	(56.3%)	10	(47.6%)	49	(43.0%)	16	(43.2%)	57	(46.7%)	32	(39.5%)	146	(47.6%)
1年以上	1	(4.3%)	0	(0.0%)	1	(4.8%)	2	(1.8%)	4	(10.8%)	2	(1.6%)	6	(7.4%)	4	(1.3%)
n.a.	2	(8.7%)	3	(4.2%)	1	(4.8%)	0	(0.0%)	4	(10.8%)	3	(2.5%)	7	(8.6%)	6	(2.0%)
今までに男性とアナルセックスをしたことがありますか																
ない	0	(0.0%)	4	(5.6%)	1	(4.8%)	3	(2.6%)	6	(16.2%)	8	(6.6%)	7	(8.6%)	15	(4.9%)
過去6カ月の間にある	19	(82.6%)	57	(80.3%)	14	(66.7%)	83	(72.8%)	21	(56.8%)	85	(69.7%)	54	(66.7%)	225	(73.3%)
過去6カ月から1年の間にある	3	(13.0%)	3	(4.2%)	4	(19.0%)	16	(14.0%)	3	(8.1%)	15	(12.3%)	10	(12.3%)	34	(11.1%)
1年以上前にある	1	(4.3%)	4	(5.6%)	1	(4.8%)	8	(7.0%)	4	(10.8%)	12	(9.8%)	6	(7.4%)	24	(7.8%)
あるけどいつかは覚えていない	0	(0.0%)	2	(2.8%)	1	(4.8%)	4	(3.5%)	2	(5.4%)	1	(0.8%)	3	(3.7%)	7	(2.3%)
n.a.	0	(0.0%)	1	(1.4%)	0	(0.0%)	0	(0.0%)	1	(2.7%)	1	(0.8%)	1	(1.2%)	2	(0.7%)
前回アナルセックスをした時、コンドームを使いましたか																
使った	13	(56.5%)	39	(54.9%)	15	(71.4%)	65	(57.0%)	17	(45.9%)	66	(54.1%)	45	(55.6%)	170	(55.4%)
使わなかった	8	(34.8%)	27	(38.0%)	5	(23.8%)	42	(36.8%)	11	(29.7%)	44	(36.1%)	24	(29.6%)	113	(36.8%)
覚えていない	2	(8.7%)	1	(1.4%)	0	(0.0%)	4	(3.5%)	2	(5.4%)	4	(3.3%)	4	(4.9%)	9	(2.9%)
n.a.	0	(0.0%)	4	(5.6%)	1	(4.8%)	3	(2.6%)	7	(18.9%)	8	(6.6%)	8	(9.9%)	15	(4.9%)
過去6ヶ月間のアナルセックスで、どの程度コンドームを使いましたか																
毎回必ず使用	6	(26.1%)	21	(29.6%)	10	(47.6%)	43	(37.7%)	11	(29.7%)	40	(32.8%)	27	(33.3%)	104	(33.9%)
使用が多かった	6	(26.1%)	23	(32.4%)	5	(23.8%)	26	(22.8%)	10	(27.0%)	33	(27.0%)	21	(25.9%)	82	(26.7%)
五分五分	4	(17.4%)	11	(15.5%)	3	(14.3%)	18	(15.8%)	3	(8.1%)	12	(9.8%)	10	(12.3%)	41	(13.4%)
不使用が多かった	3	(13.0%)	7	(9.9%)	0	(0.0%)	14	(12.3%)	3	(8.1%)	14	(11.5%)	6	(7.4%)	35	(11.4%)
全く不使用	3	(13.0%)	2	(2.8%)	1	(4.8%)	5	(4.4%)	1	(2.7%)	9	(7.4%)	5	(6.2%)	16	(5.2%)
n.a.	1	(4.3%)	7	(9.9%)	2	(9.5%)	8	(7.0%)	9	(24.3%)	14	(11.5%)	12	(14.8%)	29	(9.4%)
HIVを含む性感染症の予防のためにコンドームを使いたいと思っていましたか																
はい	18	(78.3%)	51	(71.8%)	16	(76.2%)	82	(71.9%)	25	(67.6%)	89	(73.0%)	59	(72.8%)	222	(72.3%)
いいえ	0	(0.0%)	1	(1.4%)	0	(0.0%)	3	(2.6%)	1	(2.7%)	3	(2.5%)	1	(1.2%)	7	(2.3%)
相手次第	4	(17.4%)	13	(18.3%)	4	(19.0%)	26	(22.8%)	5	(13.5%)	19	(15.6%)	13	(16.0%)	58	(18.9%)
考えていない	0	(0.0%)	1	(1.4%)	0	(0.0%)	0	(0.0%)	0	(0.0%)	2	(1.6%)	0	(0.0%)	3	(1.0%)
コンドーム以外の予防法	0	(0.0%)	0	(0.0%)	0	(0.0%)	0	(0.0%)	0	(0.0%)	1	(0.8%)	0	(0.0%)	1	(0.3%)
その他	0	(0.0%)	0	(0.0%)	0	(0.0%)	0	(0.0%)	0	(0.0%)	1	(0.8%)	0	(0.0%)	1	(0.3%)
n.a.	1	(4.3%)	5	(7.0%)	1	(4.8%)	3	(2.6%)	6	(16.2%)	7	(5.7%)	8	(9.9%)	15	(4.9%)

表11. HIV 予防や支援に関する資源の認知（年度別、受検経験別）

	16年度				17年度				18年度				合計			
	HIV検査の受検経験		HIV検査の受検経験		HIV検査の受検経験		HIV検査の受検経験		HIV検査の受検経験		HIV検査の受検経験		HIV検査の受検経験			
	初回 n=23	それ以外 n=71	初回 n=21	それ以外 n=114	初回 n=37	それ以外 n=122	初回 n=81	それ以外 n=307								
次のコミュニティセンターを知っていますか																
ZEL（宮城県仙台市）	1 (4.5%)	2 (3.1%)	0 (0.0%)	2 (1.8%)	0 (0.0%)	4 (3.3%)	1 (1.3%)	8 (2.7%)								
akta（東京都新宿区）	7 (31.8%)	41 (63.1%)	9 (47.4%)	69 (63.3%)	15 (42.9%)	81 (66.4%)	31 (40.8%)	191 (64.5%)								
SHIP（神奈川県横浜市）	1 (4.5%)	9 (13.8%)	2 (10.5%)	22 (20.2%)	4 (11.4%)	13 (10.7%)	7 (9.2%)	44 (14.9%)								
rise（愛知県名古屋市）	0 (0.0%)	5 (7.7%)	0 (0.0%)	7 (6.4%)	0 (0.0%)	5 (4.1%)	0 (0.0%)	17 (5.7%)								
dista（大阪府大阪市）	0 (0.0%)	10 (15.4%)	0 (0.0%)	7 (6.4%)	0 (0.0%)	14 (11.5%)	0 (0.0%)	31 (10.5%)								
haco（福岡県福岡市）	0 (0.0%)	1 (1.5%)	1 (5.3%)	4 (3.7%)	1 (2.9%)	11 (9.0%)	2 (2.6%)	16 (5.4%)								
mabui（沖縄県那覇市）	0 (0.0%)	1 (1.5%)	0 (0.0%)	5 (4.6%)	0 (0.0%)	7 (5.7%)	0 (0.0%)	13 (4.4%)								
いずれも知らない	15 (68.2%)	19 (29.2%)	10 (52.6%)	35 (32.1%)	19 (54.3%)	38 (31.1%)	44 (57.9%)	92 (31.1%)								
これまでも都内でゲイ・バイセクシュアル向けのHIV検査会があったことを知っていましたか																
知っていた	4 (17.4%)	18 (25.4%)	12 (57.1%)	89 (78.1%)	22 (59.5%)	91 (74.6%)	38 (46.9%)	198 (64.5%)								
知らなかった	19 (82.6%)	49 (69.0%)	9 (42.9%)	25 (21.9%)	15 (40.5%)	31 (25.4%)	43 (53.1%)	105 (34.2%)								
n.a.	0 (0.0%)	4 (5.6%)	0 (0.0%)	0 (0.0%)	0 (0.0%)	0 (0.0%)	0 (0.0%)	4 (1.3%)								
HIV予防に関連する次のwebサイトや検査相談等の支援を知っていますか																
HIV検査相談マップ（webサイト）	7 (77.8%)	43 (70.5%)	7 (77.8%)	67 (74.4%)	13 (61.9%)	75 (75.8%)	27 (69.2%)	185 (74.0%)								
HIVマップ（webサイト）	1 (11.1%)	23 (37.7%)	3 (33.3%)	34 (37.8%)	9 (42.9%)	43 (43.4%)	13 (33.3%)	100 (40.0%)								
東京都HIV検査情報web（webサイト）	1 (11.1%)	13 (21.3%)	3 (33.3%)	36 (40.0%)	9 (42.9%)	37 (37.4%)	13 (33.3%)	86 (34.4%)								
東京都南新宿検査・相談室（webサイト）	1 (11.1%)	27 (44.3%)	2 (22.2%)	44 (48.9%)	3 (14.3%)	41 (41.4%)	6 (15.4%)	112 (44.8%)								
東京都多摩地域検査・相談室	0 (0.0%)	6 (9.8%)	1 (11.1%)	9 (10.0%)	1 (4.8%)	7 (7.1%)	2 (5.1%)	22 (8.8%)								
電話相談	2 (22.2%)	12 (19.7%)	3 (33.3%)	12 (13.3%)	4 (19.0%)	10 (10.1%)	9 (23.1%)	34 (13.6%)								

表12. HIV および性感染症に関する知識（年度別、受検経験別）

	16年度				17年度				18年度				合計			
	HIV検査の受検経験		HIV検査の受検経験		HIV検査の受検経験		HIV検査の受検経験		HIV検査の受検経験		HIV検査の受検経験		HIV検査の受検経験			
	初回 n=23	それ以外 n=71	初回 n=21	それ以外 n=114	初回 n=37	それ以外 n=122	初回 n=81	それ以外 n=307								
[知識] HIVに感染しても、適切な治療を受ければ、体内のウイルス量をおさえることができる。																
正しい	19 (82.6%)	63 (88.7%)	20 (95.2%)	110 (96.5%)	28 (75.7%)	107 (87.7%)	67 (82.7%)	280 (91.2%)								
間違っている	0 (0.0%)	5 (7.0%)	0 (0.0%)	2 (1.8%)	3 (8.1%)	7 (5.7%)	3 (3.7%)	14 (4.6%)								
わからない	4 (17.4%)	2 (2.8%)	1 (4.8%)	2 (1.8%)	5 (13.5%)	8 (6.6%)	10 (12.3%)	12 (3.9%)								
n.a.	0 (0.0%)	1 (1.4%)	0 (0.0%)	0 (0.0%)	1 (2.7%)	0 (0.0%)	1 (1.2%)	1 (0.3%)								
[知識] 男性同性間のセックスを行っている人は、年に1,2回、定期的にHIV検査を受けたほうが良い。																
正しい	21 (91.3%)	63 (88.7%)	21 (100%)	102 (89.5%)	30 (81.1%)	114 (93.4%)	72 (88.9%)	279 (90.9%)								
間違っている	0 (0.0%)	2 (2.8%)	0 (0.0%)	7 (6.1%)	3 (8.1%)	4 (3.3%)	3 (3.7%)	13 (4.2%)								
わからない	2 (8.7%)	5 (7.0%)	0 (0.0%)	5 (4.4%)	3 (8.1%)	4 (3.3%)	5 (6.2%)	14 (4.6%)								
n.a.	0 (0.0%)	1 (1.4%)	0 (0.0%)	0 (0.0%)	1 (2.7%)	0 (0.0%)	1 (1.2%)	1 (0.3%)								
[知識] 保健所では名前を言わずに無料でHIV検査を受けることができる。																
正しい	18 (78.3%)	69 (97.2%)	20 (95.2%)	106 (93.0%)	31 (83.8%)	115 (94.3%)	69 (85.2%)	290 (94.5%)								
間違っている	0 (0.0%)	0 (0.0%)	1 (4.8%)	4 (3.5%)	0 (0.0%)	2 (1.6%)	1 (1.2%)	6 (2.0%)								
わからない	5 (21.7%)	1 (1.4%)	0 (0.0%)	3 (2.6%)	6 (16.2%)	5 (4.1%)	11 (13.6%)	9 (2.9%)								
n.a.	0 (0.0%)	1 (1.4%)	0 (0.0%)	1 (0.9%)	0 (0.0%)	0 (0.0%)	0 (0.0%)	2 (0.7%)								
[知識] 学校や職場の健康診断でHIVに感染していることが分かる人もいる。																
正しい	4 (17.4%)	7 (9.9%)	1 (4.8%)	9 (7.9%)	4 (10.8%)	11 (9.0%)	9 (11.1%)	27 (8.8%)								
間違っている	13 (56.5%)	43 (60.6%)	14 (66.7%)	68 (59.6%)	18 (48.6%)	77 (63.1%)	45 (55.6%)	188 (61.2%)								
わからない	5 (21.7%)	20 (28.2%)	6 (28.6%)	37 (32.5%)	13 (35.1%)	33 (27.0%)	24 (29.6%)	90 (29.3%)								
n.a.	1 (4.3%)	1 (1.4%)	0 (0.0%)	0 (0.0%)	2 (5.4%)	1 (0.8%)	3 (3.7%)	2 (0.7%)								
[知識] 風邪のような症状で病院を受診したときに何も言われなければ、HIVに感染していない。																
正しい	2 (8.7%)	3 (4.2%)	0 (0.0%)	2 (1.8%)	1 (2.7%)	1 (0.8%)	3 (3.7%)	6 (2.0%)								
間違っている	15 (65.2%)	60 (84.5%)	19 (90.5%)	88 (77.2%)	27 (73.0%)	102 (83.6%)	61 (75.3%)	250 (81.4%)								
わからない	5 (21.7%)	7 (9.9%)	2 (9.5%)	24 (21.1%)	8 (21.6%)	18 (14.8%)	15 (18.5%)	49 (16.0%)								
n.a.	1 (4.3%)	1 (1.4%)	0 (0.0%)	0 (0.0%)	1 (2.7%)	1 (0.8%)	2 (2.5%)	2 (0.7%)								
[知識] 梅毒の初期症状には必ず痛みをとまなう症状が出る。																
正しい			1 (4.8%)	7 (6.1%)	1 (2.7%)	5 (4.1%)	2 (2.5%)	12 (3.9%)								
間違っている			17 (81.0%)	94 (82.5%)	28 (75.7%)	104 (85.2%)	45 (55.6%)	198 (64.5%)								
わからない			3 (14.3%)	12 (10.5%)	8 (21.6%)	12 (9.8%)	11 (13.6%)	24 (7.8%)								
n.a.			0 (0.0%)	1 (0.9%)	0 (0.0%)	1 (0.8%)	0 (0.0%)	2 (0.7%)								